|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 西　　暦 | 年　　号 | 干支 | 国および世界の出来事 | 酒　田　の　主　な　出　来　事　ほ　か（　事　項　） |
| ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１２  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３  ２０１３ | 平成２４  平成２４  平成２４  平成２４  平成２４  平成２４  平成２４  平成２４  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５  平成２５ | 壬辰  壬辰  壬辰  壬辰  壬辰  壬辰  壬辰  壬辰  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳  癸巳 | 1/9　女子サッカー「なでしこジャパン」日本代表監督の佐々木則夫（尾花沢市出身）が国際サッカー連盟の２０１１年女子最優秀監督賞受賞  1/13 第１次野田佳彦改造内閣成立  1/16 オーストリアのインスブルックで開催の冬季ユース五輪スピードスケート男子千五百ｍに山形中央高校１年生の一戸誠太郎が銅メダル。同上三千ｍに銀、同上マススタート男子（１２周）銀メダル。  1/31 大蔵村の肘折で１月観測史上最多の積雪３５センチ  1/31 山形県は知事を本部長とする豪雪災害対策本部を設置  2/10 復興庁設置  2/29 東京スカイツリー完成  3/3 日本初のワールドカップスキー女子ジャンプ蔵王大会開催。第１１戦で高梨沙羅（北海道・上川中学校）が優勝  3/15 山形県は文学者の丸谷才一を県民栄誉賞に選定  3/16 吉本隆明（詩人、思想家、米沢高等工業学校入学）死去  3/17 山形県議会副議長に森田廣  3/22 国土交通省が発表した公示地価「１月１日現在」で、県内の平均価格は前年比４．３％減。１４年連続下落  4/13 北朝鮮長距離弾道ミサイル（地球観測衛星）発射（打ち上げ失敗）  4/24 県はインフルエンザ注意報を再発令  5/6 茨城県つくば市や栃木県真岡市などで竜巻が発生。暴風により森林や建物など甚大な被害  5/22 東京スカイツリーが営業開始  6/4 第２次野田佳彦改造内閣成立  7/12 九州北部豪雨  7/17 文化勲章受章者丸谷才一に山形県名誉県民賞  7/21-8/13 ロンドンオリンピック。日本のメダル数１３競技、金３・銀１４・銅１７合計２８は歴代最多  9/6 4/20に文化審議会により平成４年舟形町の西ノ前遺跡から出土し、『縄文のビーナス』（縄文の女神）と呼ばれてきた「土偶」が文部科学省により正式に国宝に指定  9/21 ロンドンオリンピック女子サッカーで銀メダル獲得の「なでしこジャパン」佐々木則夫監督が県民栄誉賞を受賞  10/8 山中伸弥京都大学教授のノーベル医学生理学賞受賞が発表  10/13 丸谷才一８７歳（鶴岡出身、文化勲章、山形名誉県民、小説家、評論家）死去  11/7 吉田沙保里（女子レスリング）が世界大会１３連勝で国民栄誉賞  11/16 最上川流通・往来及び左沢町場の景観（大江町）が重要文化財景観指定の答申  12/16 衆議院議員総選挙は自民党が圧勝  12/26　 第２次安倍晋三内閣成立  1/10 県知事選挙。吉村美栄子無投票再選  １９５９年（昭和３４）安孫子藤吉以来５４年ぶりの無投票  1/15 民間団体「卵子提供登録支援団体」は「卵子バンク」を開始  1/16 アルジェリア人質死亡事件。南東部イナメナスのプラント建設現場でイスラム武装勢力が拘束。死者１０人  1/19 ４８代横綱大鵬死去  1/20 戦後初めて来日したゾウで平和の使者と呼ばれ人気を集めた「はな子」が６６歳。国内最高齢記録を更新  1/21 第15回大藪春彦賞に柚月裕子（山形市出身）  1/29 気象庁は函館、神戸、長崎の各海洋気象台をそれぞれ地方気象台に、舞鶴海洋気象台〔京都府〕を本庁気象センターに１０月から改編  1/29 県健康福祉部はインフルエンザ警報発令  2月　４８代横綱大鵬に国民栄誉賞を授与  2/8 東北電力が家庭向け電気料金の値上げ幅を１１％とする方向で最終調整。７月に実施の意向  2/8 庄内地方が暴風雨。断続的に大荒れの天候となり、列車の運行や飛行機の欠航が相次いだほか、月山道が一時通行止め  2/12 北朝鮮地下核実験実施３回目  2/15 ロシア南部ウラル地方のチェリャビンスク州周辺に隕石落下１０００人けが  2/17 ノルディックスキージャンプのワールドカップで１６歳高梨沙羅総合優勝。日本初、史上最年少  2/20 映画「おしん」撮影開始。遊佐町比子「旧青山本邸」で  2/24 イタリア・バルディフィエメで行われ初採用のジャンプ混合団体で日本初代王座に  2/25 鶴岡市出身の大岩戸（上林義之・八角部屋）が悲願の入幕。  庄内からは１９８３年初場所若瀬川以来３９年ぶり  3/2 東京発秋田行き秋田新幹線こまち２５号脱線。けが人なし  3/2 発達した低気圧の影響で暴風雨となった北海道で車が相次いで立ち往生するなど８人死亡  3/15 参議院で日銀の次期総裁に黒田東彦を賛成多数で可決  3/22 東北電力の電気料金引き上げ。７月から家庭向け料金を１１．４１％引き上げる  3/26 損害保険料算出機構は住宅向け地震保険の基準料率を全国平均１５．５％を引き上げる内容改定を発表最大で３０％の引き上げ。２０１４年７月にも値上げ  4/1 ６０代も本格的に働く社会が到来する。従業員を６５歳まで雇用するよう企業に義務づける改正高年齢雇用安定法施行  4/1 子育て支援医療の通院費無料の対策を小学３年生まで拡充。未熟児養育医療・育成医療の窓口が県から市に  4/3 　庄内地域など県内各地でロケが行われた映画「おしん」の撮影が終了  4/8 １９７９年から９０年まで英保守党政権を担い、強力な指導力と反共産主義の姿勢から「鉄の女」と評されたマーガレット・サッチャー元首相死去。  ８７歳  4/8　 中国で感染が広がる鳥インフルエンザウイルスに関し、県は人から人への感染を確認された場合知事を本部長とする設置の対応方針  4/13 ノーベル平和賞受賞者でミャンマー最大野党、国民民主連盟党首のアウン・サン・スー・チーが２７年ぶりに日本訪問  4/25 自民党元幹事長加藤紘一が三女鮎子を後継者に指名。自らは政界から退く事を正式表明  5/5 元巨人監督の長嶋茂雄(77))と元大リーグ選手の松井秀樹(38)が国民栄誉賞表彰式  5/24 冒険家三浦雄一郎(80)、世界最高峰エベレスト登頂に成功。史上最高齢記録  6/1 文科省ら関係３閣僚幼児教育第３子から無償化で合意  6/1-2 東北６県の夏祭りが集結する「東北六魂祭」が福島市で開催  6/4 日本Ｗ杯決定。５大会連続５度目  6/5 厚生労働省は２０１２年合計特殊出生率が1.41と発表。1.4台は１６年ぶり。出生率は上昇、出生数は最少  6/6 ５０年に一度のご開帳（4/27-5/31 ）３５日間があった立石寺を訪れた参拝客は３０万人  6/7 ６月６日を「さくらんぼの日」にＪＡ全農山形が制定  6/12 世界最高齢で史上最も長生きした男性と認定された木村次郎右衛門（京都府丹後市）116歳死去  6/19 生活が苦しい家庭の子供の教育支援を柱として「子供の貧困対策推進法案」が参院本会議で可決、成立  6/22 世界遺産委員会は日本政府が推薦した「富士山」について景勝地の「三保の松原」（静岡市）を含めて世界文化遺産に登録決定  6/28 羽越本線特急「いなほ」今秋からの新型車両のイメージ公表  7/1 夏の節電開始。東日本大震災２０１１年以降５回目。９月３０日まで  7/2 ホンダと米自動車大手ゼネラル・モーターズ（ＧＭ）が提携  7/3 エジプトでクーデター  7/4 育児休業の取得率が低下。女性の割合が前年度比４．２％減の８３・６％、男性同０．７４％減の１．８９％  7/4　 県内で過去１０年来最多のカメムシ大発生  7/9 県内で５９年ぶりとなるプロ野球公式戦巨人―ヤクルト（中山町の日新スタジアム）  7/9 県内９地点で真夏日  7/11 超極早生の枝豆の新品種「つるおかぼんちゃ」の販売  7/11 日銀は、金融政策決定会合で、景気回復を宣言。２年半ぶり  7/12 総務省が２０１２年就業構造基本調査によると、２５－３５歳女性のうち働く人の割合が６９．８％と過去最高  7/21 参議院議員通常選挙  7/27 ３０回目を迎えた「水焔の能」が鶴岡市櫛引スポーツセンターで黒川能と松山能が初共演  7/29 厚生労働省は８月から生活保護法の内食費や光熱費にあてる「生活扶助」の基準額を引き下げ1.5％カット  7/30 庄内柿の北海道出荷１００周年  8/1 東北電量家庭向け電気料金９月１日より8.94％値上げ  8/4　Ｈ２Ｂロケット打ち上げ成功。国際宇宙ステーションに物資を運ぶ無人補給船「こうのとり」を載せ  8/6 　２０１４年度の「つや姫」の作付面積３％増の６７００ｈａ  8/7 県職員給与7.2％削減（９－３月まで）  8/8 人事院は２０１３年度の国家公務員一般職の月給とボーナスを据え置き  8/19 高校野球全国大会で日大山形が県勢初の４強入り  8/27　メタンハイドロード埋蔵が日本海側の上越と能登半島沖に約２２５ヵ所  8/27 財務省は地方自治法施行６０周年記念硬貨を発行。山形県の貨幣、千円銀貨が「最上川とサクランボ」、５００円硬貨が「縄文の女神」  8/28 日本の人口は前年同期より２６万６００４人減少。１億２６３９万３６７９人  8/30 気象庁は大規模な災害の発生が切迫している事を伝える為、防災情報「注意報」「警報」に加え、「特別警報」を創設  9/2 山形県運輸支局発表。３月末自動車普及状況県内の１世帯当たり2.29台で全国２位  9/7 ２０２０年の第３２回夏季オリンピック大会の開催都市が東京に決定。５６年ぶり  9/11 消費税を来年４月に現行５％から８％に  9/12 国土交通省は庄内空港の管制業務と航空機への運航情報の提供を２０１５年度に仙台空港からの遠隔制御（リモート化）へ切り替える計画  9/15 プロ野球ヤクルトのウランディミール・バレンティン外野手が神宮球場で今季56号を放ち、シーズン本塁打記録を塗り替えた  9/16　台風１８号列島直撃福井県、京都府、滋賀県に大雨特別警報  9/19 ドクターヘリ３県（山形・新潟・福島）連携合意  9/21 プロ野球東北楽天の田中将大投手が開幕２２連勝  9/25 一律１割となっている介護サービスを自己負担２割に引き上げ  9/26　プロ野球パリーグ東北楽天イーグルスが悲願の初優勝  9/27 中国・第２２回金鶏百花映画祭で「おしん」が国際映画部門で最優秀作品賞  9/29 山崎豊子死去  作家　８８歳  10/1 消費税来年４月引き上げ５％から８％政府決定  10/2 東京国体で本県の女子バレーボールパイオニアが優勝  10/12 本県で撮影された映画「おしん」の全国公開  10/13 やなせたかし死去。９４歳「アンパンマン」作者  10/17 道徳を２０１５年度から「特別教科」として実施が決定  10/28 プロ野球「Ｖ９監督」川上哲治死去。９３歳  10/30 米の生産調整（減反）に参加した全農家に配っている補助金を２０１４年度から半額に減らす方針  10/30 山形・福島・新潟３県ドクターヘリ広域運用開始    11/1 羽越線や奥羽線などを通り上野―青森駅間を１日１往復走るＪＲ東日本の寝台特急「あけぼの」が本年度で廃止  11/3 プロ野球日本シリーズは、パリーグ優勝の楽天がセリーグ覇者の巨人を下し球団創設９年目で初の日本一  11/8 歌手の島倉千代子死去。７８歳  11/21 プロ野球のソフトバンクの長谷川勇也選手初のベストナイン  11/22 ８月１１日を「山の日」とする祝日法改正案を提出決定    11/26 政府はコメ政策を大きく転換し、２０１８年度をめどに生産調整（減反）を廃止決定  11/29 文部科学省は全国学力テストの実施要領を変更  12/2 「２０１３ユーキャン新語・流行語大賞」発表「今でしょ！」「じぇじぇじぇ」「倍返し」「お・も・て・な・し」  12/5 ドイツとスペインの研究チームが人類のＤＮＡでは最古となる４０万年前の初期人類の大腿骨に含まれるＤＮＡを解読  12/6 機密漏洩に厳罰を科す特定秘密保護法賛成多数で成立  12/19 東京都知事、医療法人徳州会グループから５千万円の受領問題を受け、猪瀬直樹辞職表明  12/20 山形県議会は、生産調整の５年後の廃止方針を含む政府のコメ政策転換で、減反参加農家に支給される補助金を今後１０年程度存続意見書全会一致で可決  12/24 ソチ冬季パラリンピック旗手に県出身の太田渉子  12/27 ソフトバンクの長谷川勇也選手（酒田南高出）に県スポーツ特別賞  12/30 本県の２０１２年の農業算出額２３５２億円（全国２位） | １月　２日　第２０回新年うたひの会開催〔松山文化伝承館〕（酒田市ＨＰ）  １月１１日　「知事と語ろう市町村ミーティングin酒田」開催〔公益ホール〕（酒田市ＨＰ）  １月１５日　庁舎改築設計提案内容説明会〔総合文化センター４Ｆ〕（酒田市広報）  １月２３日　市広報「私の街さかた」第５７回山形県市町村コンクール広報紙の市部で、最高賞の特選。受賞対象は平成２３年１０月１日号。全国コンクールに出品（酒田市広報）  １月２４日　本間美術館の庭園「鶴舞園」が国指定名勝となる（荘内日報）  １月２５日　酒田港が〔株〕日本港湾協会の主催するポート・オブ・ザ・イヤー２０１１特別賞を受賞（酒田市広報）  　　１月２７日　「酒田カントリークラブ」経営の庄内東信グリーンビジネスが東京地裁に自己破産を申請。負債総額約２４億円（山形新聞）  １月２８日　酒田市スポーツ少年団設立４５周年記念兼合併５周年記念式典〔玉姫殿〕（酒田市ＨＰ）  １月２９日　第１０回ひらた雪ん子目ん玉まつり開催〔平田スキー場〕（酒田市ＨＰ）  ２月　１日　酒田市の国道３４４号で、車数台が雪の吹きだまりに乗り上げ、１日午後７時から９時にかけ一時４０～５０台が立ち往生。吹きだまりは最大で１．５ｍ （毎日新聞）  ２月　２日　「酒田市豪雪対策本部」を設置（酒田市ＨＰ）  ２月２０日　天皇陛下のご入院に際し、お見舞いのための記帳所を市役所、各総合支所ロビー等に設置（酒田市ＨＰ）  ２月２２日　日本海沿岸東北自動車道の温海―鶴岡間の１１．８ｋｍを国土交通省などが３月２４日に開通と発表。あつみ温泉から酒田みなとの路線名は「日本海東北自動車道」に変更（朝日新聞）  ２月２９日　中合清水屋が閉店。新店舗「マリーン５清水屋」が１０月にグランドオープン予定（山形放送ＨＰ）  ３月　４日　県立酒田北高等学校閉校記念式典（酒田市ＨＰ）  ３月　５日　「マリーン５清水屋」が開店（山形新聞）  ３月　６日　東日本大震災をうけ山形県が見直しの津波浸水予測図を公表。説明会を３月１６日に総合文化センターで開催（酒田市広報）  ３月９日～１１日　東北６県と新潟県の名産品を販売する復興支援物産市が７県の１０空港が共同企画し実施（酒田市広報）  ３月１２日　光ケ丘プールが平成６年５月１５日の開設以来利用者が１，１１１，１１１人達成（酒田市広報）  ３月１３日　酒田市飛島の医療体制は４月から診療所に医師を常駐させない遠隔診療に切り替えることを市側が市議会の一般質問で答弁（山形放送）  ３月１５日　酒田地区広域行政組合消防本部は２０１１年の火災、救急、救助の統計をまとめ発表。火災は１９７３年〔昭和４８〕年の組合設立以降で最少の３６件、１１年ぶりに死者ゼロ。救急出動件数は６２３１件の過去最高（山形新聞）  ３月１５日　酒田市議会は、東日本大震災の災害廃棄物について、酒田市と酒田地区広域行政組合に対し、「放射能汚染の不安のないことが確認されたものについては受け入れ処理に協力すること」とする決議案を全会一致で可決（朝日新聞）  ３月１５日　教育委員に三原容子任命（酒田市議会だより）  ３月１５日　亀城小学校及び港南小学校、松山中学校及び飛鳥中学校を統合するため、所要の改正を議決（酒田市議会だより）  ３月１８日　東日本大震災で減少した観光客を呼び戻すなどの目的に東北６県を博覧会場として東北観光博が本市では酒田「夢の倶楽」前で実施（酒田市広報）  ３月１９日　県立酒田光陵高等学校開校に伴う交通安全対策の市民への協力依頼（酒田市広報）  ３月２１日　au〔ＫＤＤＩ〕とソフトバンクが提供する「緊急速報メール」を利用した災害・避難携帯電話への配信の開始（酒田市広報）  ３月２３日　県環境審議会の環境計画管理部会〔部会長：高木武夫・東北公益文科大学名誉教授〕は、県の環境政策の指針となる新しい環境計画など３計画を承認する答申。県立自然公園内への風力発電開発についても「整備に配慮する」と導入を協議していく方針（朝日新聞）  ３月２４日　日本海沿岸東北自動車道温海ＩＣ～鶴岡ＪＣＴ間２５．８㎞が開通。日本海沿岸東北自動車道〔日沿道〕のあつみ温泉ＩＣ－鶴岡ＪＣＴ間の開通を受け、国土交通省と東日本高速道路はあつみ温泉ＩＣ－酒田みなとＩＣ間の名称を「日本海東北自動車道「日東道」に変更。秋田、新潟両県内の名称に合わせる（酒田市広報）  ３月２４日　市立平田中学校閉校式。昭和２９年に設立され、昭和４５年に東平田中学校と統合し５８年の歴史を閉じる（酒田市広報）  ３月２５日　市立第二中学校閉校式。昭和２２年５月に市立琢成中学校〔青年学校〕の校舎に併設し開校以来６５年の歴史を閉じる（酒田市広報）  ３月２６日　〔株〕エルデック、環清工業〔株〕との災害時における、し尿・汚水及び浄化槽汚泥の収集運搬等に関する協定に調印（酒田市広報）  ３月３１日　酒田市の人口１１０，７９４人〔男５２，５６７人、女５８，２２７人〕世帯数４１，５２５世帯（酒田市統計）  ４月　１日　市立酒田中央高等学校は県立酒田工業高等学校、県立酒田商業高等学校、県立酒田北高等学校の３校と統合し県立酒田光陵高等学校〔北千日町字前松境〕となる。開校式は４月９日、入学式は４月１０日。生徒数は１，２３８人で公立高校では東北・北海道で最大規模。校長：中山英行、校歌：作詞小山薫堂、作曲大島ミチル（山形新聞）  ４月　１日　市暴力団排除条例を施行〔平成２０年３月２５日に酒田市暴力追放都市宣言〕（酒田市広報）  ４月　２日　市教育委員長に高橋利秀就任、教育委員長職務代理者に齋藤義明就任（酒田市教育委員会報告）  ４月　４日　発達した低気圧の影響で北日本に猛烈な風が吹き、山形地方気象台によると４日未明山形県小国町で４２．３ｍ、酒田市で４１．２ｍの最大瞬間風速を観測し、４月の観測史上最大。市立港南小学校の体育館の屋根落下、高波で飛島の防波堤破損、農業用ハウスなどの被害も甚大（朝日新聞）  ４月　７日　光ケ丘陸上競技場は、昭和３０年に整備、昭和４１年にスタンドの改築、昭和６０年に全天候型舗装トラックを経て、全面改修し利用開始。改修工事竣工式典は４月１４日（酒田市広報）  ４月　７日　酒田市飛島で常駐医師による飛島診療所長が離任し４月７日離島。４月６日から日本海総合病院の派遣医師による診療と毎週金曜日と土曜日に日本海総合病院とテレビ電話による遠隔医療へ変更（酒田市広報）  ４月１１日　過疎・少子高齢化に悩む農山村に１年間移住し、農作業や福祉、暮らしの手助けをする「緑のふるさと協力隊」ＮＰＯ法人地球緑化センター〔東京〕の事業で飛島に派遣される松本友哉〔山口県出身〕に「酒田市地域おこし協力隊」の委嘱状が交付（酒田市広報）  ４月１２日　市観光物産課がＦＭラジオ放送で毎週木曜日本市の魅力や観光情報を発信〔平成２５年３月までの予定〕（酒田市広報）  ４月１２日　石巻市〔宮城県〕・大崎市〔宮城県〕・新庄市・酒田市における災害援助協定の締結式〔宮城県石巻市役所〕。４市は太平洋側と日本海側を結ぶ国道の整備推進に協力し、石巻・酒田間連携サミット、みちのくウエストライン交流を推進（酒田市広報）  ４月１６日　３月３１日に閉校した市立第二中学校、市立平田中学校が統合し、新生第二中学校〔新橋四丁目〕として開校。校章：勝見健一、校歌：作詩　宇井孝司、作曲：工藤俊幸（酒田市広報）  ４月１６日　４月３日・４日にかけての暴風雨被害で県内の農林水産業の被害総額は、１７億２８００万円と知事が記者会見で公表。農業施設が５１４２棟倒壊し、被害額７億５０００万円で、過去１０年の台風などによる農業施設の被害額としては最悪（朝日新聞）  ４月１７日　本市所有の人形作家・辻村寿三郎の作品を「夢の倶楽」から「山王くらぶ」に移設し、リニューアルオープンセレモニー開催（酒田市広報）  ４月２５日　八幡よみきかせ隊が文部科学大臣賞表彰を受賞（酒田市広報）  ４月２８日　中央公民館リニューアルオープンセレモニー開催（酒田市ＨＰ）  ５月　９日　１８時５８分頃震源地を山形県庄内地方とする深さ１０ｋｍ、地震規模マグニチュード３．３の地震発生。震度２は酒田市山田、震度１は酒田市本町など（酒田市ＨＰ地震情報）  ５月１１日　街なかプロモーション事業として中心市街地活性化を図るため空き店舗の旧イワマビルを活用する展示ギャラリーの設置やイベントを実施。１１日開店、  １３日オープンセール〔さかた街なかＰＲ館・イワマビル〕（酒田市ＨＰ）  ５月１２日　八森パークゴルフ場公認コース認定記念式典〔八幡タウンセンター〕（酒田市ＨＰ）  ５月１２日　市自治会連合会第５０回定期総会及び５０年祝賀会〔ホテルリッチ&ガーデン〕（酒田市自治会報）  ５月１４日　庄内観光コンベンション協会第１理事会・通常総会が東京第一ホテル鶴岡で開催（酒田市ＨＰ）  ５月１７日　マリーン５清水屋店内に宮脇書店開店（山形新聞）  ５月２１日　日本の太平洋側の多くの地域で午前７時３０分前後に金環日食が観測され、酒田市でも総合文化センターで部分日食観望会が実施（酒田市ＨＰ）  ５月２３日　豪華客船ぱしぃふぃっくびーなす号が酒田北港に寄港（酒田市広報）  ５月２５日　第１回松山中・飛鳥中統合準備委員会開催〔平田農村環境改善センター〕（酒田市ＨＰ）  ６月　６日　「金星の太陽面通過」の天文現象があり、眺海の森天体観測館が臨時開館し観察会を開催（酒田市広報）  ６月　７日　酒田市が宮城県松島町の東日本大震災の産業廃棄物〔津波の被害によるものでなく、地震で損壊して建物の解体により発生した可燃物〕の試験焼却実施を発表。６月１６日災害廃棄物搬入、６月１７日試験焼却、６月１８日試験焼却で発生した処理灰、不燃物の埋め立て処分（酒田市広報）  ６月　７日　寛仁親王殿下ご薨去に伴う記帳場を６月７日～１１日まで市役所１階ロビー他４箇所に設置（酒田市広報）  ６月　９日　農林水産物直売機能と情報発信機能を併せ持つ施設「さかた中町『まんなか』マルシュ」が開店〔中通り商店街内〕（酒田市広報）  ６月　９日　酒田湊ロータリークラブ創立２０周年記念式典〔酒田玉姫殿〕（酒田市広報）  ６月２６日　〔財〕本間美術館庭園「鶴舞園」が国の名勝指定と開館６５周年を祝う会開催〔ホテルリッチ&ガーデン〕（酒田市ＨＰ）  ６月３０日　いけばな池坊５５０年祭池坊酒田支部創立７０周年記念祝賀会〔ホテルリッチ&ガーデン〕（酒田市ＨＰ）  ７月　１日　市空き家等の適正管理に関する条例を施行（酒田市広報）  ７月　１日　市庁舎改築に向けた基本設計〔最終案〕の説明会及び意見交換の市民ワークショップ開催〔第４回・最終回〕〔総合文化センター〕（酒田市広報）  ７月　１日　第４０回酒田市民体育祭開催〔光ケ丘陸上競技場〕（酒田市ＨＰ）  ７月１１日　市老人クラブ連合会創立５０周年記念〔光ケ丘多目的グラウンド〕（酒田市ＨＰ）  ７月２１日　市パークゴルフ協会第１回市長杯大会開催〔八森パークゴルフ場〕（酒田市ＨＰ）  ７月２３日　猿が市街地に出没（酒田市ＨＰ）  ７月２７日　出羽国建国１３００年記念事業〔和銅５年７１２「続日本紀」〕「酒田市史跡めぐり」開催（酒田市広報）  ８月　８日　第９４回全国高等学校野球選手権大会開幕、酒田南高等学校が１０回目の出場。下妻貴寛主将が選手宣誓（酒田市ＨＰ）  ８月２０日　〔株〕和農日向が農林水産大臣賞受賞祝賀会〔日向コミュニティセンター〕（酒田市ＨＰ）  ８月２０日　山形県と酒田市は酒田市沿岸部の十里塚地区に出力１３８００ｋｗの風力発電を建設すると発表。２０１５年度運転開始予定（朝日新聞）  ９月　　　　「酒田市総合計画」後期計画策定（市総合計画後期計画概要版）  ９月１４日　阿部寿一市長辞職。９月１５日市長職務代理者に本間正巳〔市副市長〕（酒田市ＨＰ）  ９月１６日　明治初年の庄内「わっぱ騒動」のリーダー森藤右衛門の顕彰碑が命日に亀ケ崎一丁目に建立し除幕式（朝日新聞）  ９月１８日　台風１６号通過後に南から暖かい空気が流れ込み、市では午後１時に３５℃を記録（毎日新聞）  ９月２３日　出羽国設置１３００年和銅７１２年「続日本紀」。市立資料館で９月２８日～記念企画展。市社会教育課が１０月３１日にふるさと歴史講座開催。１１月１１日に民俗芸能フェスタ（酒田市広報）  ９月２８日　本間正巳酒田市長職務代理者退職。９月２９日から酒田市長職務代理者が丸山至〔酒田市総務部長〕に変更（酒田市広報）  １０月１１日　市・酒田観光物産協会・酒田市商工会議所が全国産業観光推進協議会主催の第６回産業観光まちづくり大賞「金賞」を受賞（酒田市ＨＰ）  １０月１３日・１４日　宮城県松山友好町盟約締結３０周年記念交流事業（酒田市ＨＰ）  １０月２２日　第２０回スポーツレクリエーション祭（酒田市広報）  １０月２８日　市長選挙及び市議会議員補欠投票日。開票の結果は市長に本間正巳当選、市議会議員補欠選挙は江口陽子当選（酒田市広報）  １１月　２日　酒田市顕彰式。第１回ふるさと栄誉賞表彰　中島春雄〔８３歳　神奈川県相模原市在住〕ゴジラ初代スーツアクター、西原忠善〔５０歳　酒田市上安町在住〕酒田南高校野球部１０回甲子園出場  １１月　４日　「酒田砂丘マラソン」と「茂木杯ハーフマラソン」を統合した第１回酒田シティハーフマラソン大会〔酒田つや姫マラソン〕が開催（酒田市広報）  １１月１１日　出羽国誕生１３００年記念行事〔伝説芸能祭：希望ホール〕（酒田市ＨＰ）  １１月１７日　はまなし学園創立５０周年記念式典（酒田市広報）  １１月２３日　市立酒田中央高等学校記念碑除幕式〔光陵高等学校敷地〕（酒田市ＨＰ）  １１月２３日　太鼓道場「風の会」創立２０周年記念祝賀会〔勤労者福祉センター〕（酒田市ＨＰ）  １１月２９日　市教育委員に齋藤義明〔委員長職務代理者〕再任（酒田市ＨＰ）  １２月　８日　庄内空港で羽田発全日空８９９便ボーイング７３７が滑走路を８０ｍオーバーランし草地に止まるトラブル発生（山形新聞）  １２月　９日　出羽大橋の新旧整備など国道１１２号「酒田南拡幅」事業による酒田市高見台－若竹町区間延長２０７７ｍの４車線化工事が完了（荘内日報）  １２月１０日　全日空オーバーランで調査開始（西日本新聞）  １２月１４日　市教育委員長に浅井良就任（酒田市ＨＰ）  １２月１６日　衆議院議員選挙投票日。山形県３区は阿部寿一が初当選（山形新聞）  １２月１６日～２０日　「第２０回少年の翼」沖縄県今帰仁村などを訪れた（酒田市広報）  １２月１８日　新田嘉一〔平田牧場会長〕が交通文化賞を受賞（山形新聞）  １２月２７日　市では津波災害時に避難するための津波避難ビルや津波一時避難場所の指定を順次行うこととなり、指定に当たり市内のホテルとの協定を締結（酒田市広報）  　１月　２日　松山地域の「新春うたひの会」〔松山文化伝承館〕（山形新聞）  　１月　５日　飛鳥神社で「裸参り」五穀豊穣、無病息災などを願う（荘内日報）  　１月　６日　一條の八幡神社に古来から続く神事「鬼遣〔や〕らい」〔神社拝殿〕（酒田市広報）  　１月　６日　市が初めて行った「ご当地カレーレシピコンテスト」入賞者決定。最優秀賞は渋谷新〔飛島小３年〕「イカスミカレー飛島スペシャル」、市内のホテルで期間限定メニューとして提供（山形新聞）  　１月　７日　市と酒田商工会議所の新年賀詞交換会〔酒田産業会館〕（山形新聞）  　１月　８日　酒田地区広域行政組合消防本部は無火災１０００日を達成したとして東陽コミュニティ振興会を表彰（山形新聞）  　１月　９日　酒田三中が取り組む「三中コミュニティ活動」が「こころを育む総合フォーラム」の２０１２年度子どもたちの“こころを育む活動”団体の部で北海道・東北ブロック大賞に輝いた（山形新聞）  　１月１１日　ライオンズクラブ国際協会〔本部・米国〕が主催する「第２５回国際平和ポスターコンテスト」の東北地区選考会で田中伶果〔酒田二中１年〕の作品が最優秀賞に選ばれニューヨークで２月に開かれる国際選考会に出展（山形新聞）  　１月１１日　東北公益文科大の卒業生で２０１１年１月から２年間、青年海外協力隊としてアフリカ東部のケニアに赴き、コンピュータ技術を指導した松原峻が市役所を訪れ、現地での活動内容を報告（荘内日報）  　１月１２日　市と遊佐町を結ぶ唯一の路線バスが本年度いっぱいで廃止。市内４校を統合した酒田光陵高の開校が要因（山形新聞）  　１月１３日　市平成２５年成人式。新成人対象者〔平成４年４月２日～平成５年４月１日生まれ〕は１２３７人。９６９人が出席、会場の希望ホールでは久しぶりに友人との再会を喜びながら晴れやかな表情で社会の一員としての決意を新たにしていた（酒田市広報）  　１月１５日　市の異業種交流グループ第２２回例会「タブノキ会」〔治郎兵衛、講師：井山計一〕（山形新聞）  　１月１６日　酒田海上保安部と県庄内総合支庁は鶴岡市の湯の浜から鼠ヶ関の海岸や沖合で多数の木材が漂流。庄内沿岸では計３９本確認（荘内日報）  　１月１７日　県立図書館が応募した２０１２年度「手づくり絵本コンクール」入賞作品発表。最優秀賞に若草幼稚園年長組の鈴木興世の「なつのやさいでかおを作ろう」（荘内日報）  　１月１８日　十里塚で建設予定の風力発電施設について「出羽三山の自然を守る会」は県と同市に対し徹底した環境影響評価の実施を求める要望書を提出（山形新聞）  　１月１９日　酒田一中で「中学生と一緒に大家族会議～新酒田市長さんと語ろう」を開催（荘内日報）  　１月２１日　企業組合労協センター事業団〔東京都〕の多機能福祉施設「こもれび」〔高橋比呂志所長〕が酒田市北新橋一丁目に完成、開所式（山形新聞）  　１月２４日　庄内地方の土木、建築、環境に関する技術者や研究者が一堂に会する「庄内・社会技術フォーラム」が東北公益文科大公益ホールで開催（荘内日報）  　１月２５日　花王は希望ホールで前年行った「花王ファミリーコンサートin酒田」のチケット収入金額１１１万５０００円を教育委員会に寄付（荘内日報）  　１月２５日～２８日　鹿児島県志布志市の子供たちが交流で松山地域を訪れ、松山スキー場でスキーや雪遊びなどを体験。地域の子どもの家庭にホームステイ（酒田市広報）  １月２６日　松山地域に伝わる県指定無形民俗文化財・松山能の「まつやま大寒能」の上演〔松山文化伝承館〕（山形新聞）  　１月２６日　老舗居酒屋「久村の酒場」で開店以来初のジャズライブが催された。地吹雪が舞う街の一角で昭和と酒の匂いが染みついた店内に軽快な音楽が響いた（朝日新聞）  　１月２７日　市消防出初め式が同市のマリーン５清水屋前で行われた。消防団員と酒田地区広域行政組合の消防職員ら約５００人が参加（山形新聞）  １月２７日　東京税関酒田税関支署は２０１２年の管内〔山形県〕貿易概況〔速報〕をまとめ、輸出額は４３０億３７００万円で前年より１６．９％増加。酒田港利用が大半の酒田税関支署扱いは東日本大震災からの復興が進んだ太平洋側港湾に貨物が戻ったことを主因に７．６％減ったが全体の８割余りを占める山形出張所扱いが大震災の影響を脱して２２．４％伸びた。一方輸入額は７４０億５２００万円で４．７％増加。４年連続で前年を上回った（荘内日報）  　１月２７日　ひらたタウンセンターで「ジュニアラーメンフェステイバル」開催〔５店舗〕（荘内日報）  　１月３０日　県公安委員会は指定暴力団山口組系組員へ暴力団対策法に基づく再発防止命令〔不当贈与要求行為〕を出した。県内で再発防止命令が出されたのは２００３年１１月以来１０年ぶり７件目（荘内日報）  １月３１日　酒田飽海学校保健会の学校保健功労者表彰式〔総合文化センター〕功労者６人（荘内日報）  　２月　１日　酒田地区消防本部八幡分署による「防火豆まき」が八幡地域の２保育園で行われた（荘内日報）  　２月　２日　沖縄県東村〔有銘、高江、東の３小学校〕の６年生１２名が八幡小学校と交流  　　　　　　　［１日～４日まで滞在］（山形新聞）  　２月　２日　国際ソロプチミスト酒田の「クラブ・ユース・フォーラム」がガーデンパレスみずほで開催。「世界の中でボランティアを考える～私の夢」をテーマに高校生が意見交換。最優秀賞に花盛悠〔酒田西高２年〕（荘内日報）  　２月２日・３日　全庄内スキー選手権大会が松山スキー場で開催。１７５人が出場（酒田市広報）  ２月　３日　東日本大震災の復興を支援する連続講座「庄内じもとで応援隊」が生涯学習施設・里仁館で開催［キャンドル作り］（荘内日報）  　２月　３日　県酒田幼児音楽研究会主催の「幼児音楽の広場」が希望ホールで開催、市内７つの保育園児たちが日ごろの音楽活動の成果を披露（荘内日報）  　２月　５日　酒田ふれあい商工会〔中瀬義秋会長〕、最上商工会、石巻商工会が友好団体の協定を結ぶ（山形新聞）  　２月　５日　国土交通省酒田河川国道事務所「工事安全コンペ」が酒田玉姫殿で開かれ、庄内の９業者で構成する「余目酒田道路工事安全衛生協議会」の発表が最優秀賞に選ばれた（荘内日報）  　２月　６日　庄内沿岸にロシア産の木材が大量に漂着している問題で県庄内総合支庁は県内の海岸を調査したところ新たに９９本の漂着木材を発見、確認本数は１５００本に上った（荘内日報）  　２月　６日　県はやまがた米粉食品コンクールの審査結果を発表。最優秀賞に東北日本ハム〔酒田市〕の米粉パン「酒田便り」が選ばれた（山形新聞）  　２月６日・７日　酒田地区広域行政組合消防本部の救急技術強化訓練が国体記念体育館で行われた。昨年１１月に就航した県のドクターヘリの出動を想定しヘリ要請から引継ぎまでの手順を確認（山形新聞）  　２月　６日　顧客の問い合わせに電話に対応するコールセンターを運営する「プレステージ・インターナショナル」〔本社：東京都〕は市中町庁舎１階に仮事務所を開設〔１１月に酒田京田西工業団地に建設予定〕（朝日新聞）  　２月　７日　酒田港で２０１２年に取り扱ったコンテナ貨物数は輸出入合わせて８６６６個〔２０フィートコンテナ換算〕で前年比１６．２％減少（山形新聞）  　２月　７日　「土づくり　ゆたかな未来へ　庄内米　こめづくり運動推進本部」〔本部長：黒井徳夫庄内田川農協組合長〕主催の本年度食味コンクール決勝審査会が酒田市の全農山形県本部庄内ＪＡビルで開かれ、堀庸介〔酒田市藤塚〕が生産した「つや姫」が最優秀賞に選ばれた（荘内日報）  　２月　７日　ロシアビジネスセミナーがガーデンパレスみずほで開かれた。環日本海経済研究所調査研究部の新井洋史主任研究員が「ロシア極東地域の経済動向と今後の課題」と題して講演（荘内日報）  　２月　８日　亀城小の児童が酒田ユネスコ協会に古はがき２５８枚を贈った。ユネスコ協会による発展途上国の教育支援「世界寺子屋運動」に協力しようと児童会執行部のドリーム委員会を中心に全校児童から書き損じなどのはがきを回収した（山形新聞）  　２月１０日　庄内傘福研究会［工藤幸治会長］は明治、大正、昭和期の古い傘福を飾っている市内の神社や寺院などのガイドブックを作成。市街地、平田・松山、北平田・八幡の３エリアに分け、地図上に建物の所在場所を記した他、傘福それぞれの特徴や奉納された年代などの簡単な解説も掲載（荘内日報）  　２月１１日　酒田光陵高の音楽部管弦楽班による第１回弦楽アンサンブルコンサートが酒田市キリスト教会で開かれた（山形新聞）  　２月１２日　酒田ライオンズクラブは、市内の小学校新１年生用にランドセル約８５０個を寄贈（山形新聞）  　２月１３日　シンガーソングライター・ＥＰＯ［エポ］の「朗読&ミニコンサート」が希望ホールで開かれた。市内の幼稚園児と保護者ら約１４０人を招待（荘内日報）  　２月１４日　東平田、中平田、北平田の３小学校が統合して４月に開校する「平田小学校」の校歌、校章が決まった。校歌作詞・作曲：木島由美子、校章：佐藤真生（荘内日報）  　２月１４日　市は一般会計総額５０６億３０００万円〔前年度当初比４．２％増〕の２０１３年度当初予算案を発表（朝日新聞）  　２月１４日　全国小中高生や大学生らから短歌を募集した東洋大〔東京都〕の第２６回「現代学生百人一首」の入選１００首にいずれも酒田光陵高の３人入選で「学校特別賞」（荘内日報）  　２月１４日　米大リーグ・インディアンスとマイナー契約を結んだ羽黒高校硬式野球部の土田拓弥選手〔酒田市生石出身・平田中〕市役所を表敬訪問（荘内日報）  　２月１５日　人材育成や商品開発などによる雇用の創出、拡大を図る酒田市雇用創造協議会が酒田産業会館で開催。厚生労働省の実践型地域雇用創造事業の認定を目指し地域での自発的な取り組みを提案。市、酒田商工会議所、酒田ふれあい商工会、ＪＡ庄内みどり、ＪＡそでうら、県漁業協同組合、酒田観光物産協会の７団体で組織〔７月１日開始〕（山形新聞）  　２月１５日・１７日　酒田市黒森地区に伝わる農民芸能「黒森歌舞伎」の正月公演。初めての試みとして一座の子どもたちが本狂言を演じた〔黒森日枝神社境内〕（山形新聞）  ２月１６日　「中村ものづくり塾ロボットコンテスト」が総合文化センターで開催（酒田市広報）  ２月１６日　スポーツで県大会や全国大会で優秀な成績を収めた方に送られる「白崎資金酒田市スポーツ優秀選手賞」の表彰式〔２３０個人、２９団体〕（酒田市広報）  ２月１７日　土淵の松山スキー場「外山ロッジ」一帯で「眺海の森感謝祭」が開かれ、大勢の市民らがそり滑りや雪中ウォーキングなどこの時期ならではの催しを楽しんだ（荘内日報）  　２月１７日　酒田市に稽古場を構える日本舞踊千川流〔千川貴楽家元〕の「舞初めの会」がガーデンパレスみずほで開催（山形新聞）  　２月１７日　酒田市スポーツ少年団本部の指導者を対象にした研修会がベルナール酒田で開催。講演：勝田隆（荘内日報）  　２月１８日　港湾地域に再生可能エネルギーを導入し合わせて非常時の電力供給システムの可能性を探る国土交通省と環境省の委託事業に、酒田港リサイクル産業センターが同港で取り組む実証事業が採択（山形新聞）  　２月１８日　「ワーク・ライフ・バランス出前講座」が荘内銀行若竹町支店で開催（荘内日報）  　２月１９日　農業の６次産業化と農商工連携推進で産業の振興を図ろうという酒田市の「６次産業化・農商工連携研修会」が市中町庁舎で開催（荘内日報）  ２月２０日　北前船で栄えた酒田の豪商、本間家の流れをくむ本間ゴルフ〔東京・港区〕は手ごろな価格のセカンドブランド「ツアーワールド」を発売(日本経済新聞)  ２月２１日　多くの著名な文化人が滞在した事で知られる酒田市日吉町二丁目にあった老舗旅館「菊水ホテル」に、挿入画家中一弥〔１０２歳〕がかつて同旅館に長く滞在していた縁から開催する運びとなった原画展［街中キャンパス］（山形新聞）  ２月２１日　一般求職者として今春の新規学卒予定者を対象にして就職面談会｢ワークチャンス２０１３酒田・春｣が酒田市勤労者福祉センターで開催（荘内日報）  ２月２１日　酒田市体育協会の２０１２年度表彰式。各競技で全国大会に出場した選手ら計８１人を表彰〔ガーデンパレスみずほ〕(荘内日報)  ２月２１日　亀城、松原、港南３小学校の児童が牛乳パック回収活動の収益金で購入した車いす２台を日本海総合病院に贈った（山形新聞）  ２月２１日　教育委員会制定の本年度｢小林教育振興基金・青少年善行奨励賞｣表彰式が中町庁舎で行われ、市内３団体１３個人に記念のトロフィーなどが贈られた（荘内日報）  ２月２２日　新堀ミニバスケットボールスポーツ少年団の男子チームが前年１２月の県交換大会で優勝し、東京都の代々木体育館で開かれる全国大会に初出場。新堀小児童による単独チーム（山形新聞）  ２月２２日　「第２４回読書感想画中央コンクール」の中央審査があり、県内から酒田光陵高２年阿部ちせが「永遠（とわ）をさがしに」を読んで描いた「浸透」が優良賞を受賞（毎日新聞）  　２月２２日　市は亀城小と港南小を統合し２０１４年度から開校予定の統合小の校名を「亀ケ崎小」、松山中と飛鳥中を統合し同年度開校の統合中を「東部中」とする方針を固めた。市議会３月定例会に提出（山形新聞）  　２月２２日　鳥海山の噴火に伴う土砂災害に備える｢鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会｣〔委員長：檜垣大助弘前大教授〕が酒田市の産業会館で開催（山形新聞）  　２月２３日　｢酒田の新酒を楽しむ会｣がホテルリッチ&ガーデン酒田で開かれ、地元の蔵元の日本酒や焼酎を楽しんだ。酒田酒造協議会が主催、１１回目。同市と遊佐町の１０軒の蔵元がそれぞれ自慢の純米酒や純米吟醸酒、米焼酎を出品（山形新聞）  　２月２３日　松山文化伝承館で草木染めの布を使ったひな人形作り教室が開かれ、草木染めに取り組んだ〔講師：真下清美(真下慶治妻)〕（荘内日報）  　２月２３日　出羽庄内公益の森づくり事業ボランティアリーダー研修が北庄内森林組合酒田支所で行われ、森林整備で使用するチェーンソーや刈り払い機などの整備と故障時の応急修理などを学んだ（山形新聞）  　２月２４日　酒田市第三セクター・鳥海やわた観光［和田邦雄社長〕の「鳥海高原ヨーグルト」を使った料理レシピコンテストが八幡タウンセンターで開かれ、京都市会社員富田佳菜子〔八幡出身〕の「酒粕香る鶏肉のヨーグルト味噌焼き」が最優秀賞に選ばれた（山形新聞）  　２月２５日　酒田・飽海地区の小・中学生を対象に募集した「ユネスコ短歌作品」で、入賞作の表彰式が酒田市内各校で行われ、入賞者に賞状などが贈られた（荘内日報）  　２月２６日　酒田市と遊佐町のパチンコ業者で組織する「県遊技業務組合酒田支部」〔１２業者〕は市に寄付金４５万円を贈った（荘内日報）  　２月２６日　酒田市のアレルギー児とその家族を応援する「エンジェルスキップ！」が主催する防災講座が酒田市交流ひろばで開かれ、災害時の非常持ち出し袋の中身などについて話し合った（山形新聞）  　２月２７日　市は第１９回土門拳文化賞の受賞者を発表。最高賞の土門拳文化賞に高知市の小林勝利の「仁淀川遡行」を選んだ（山形新聞）  　２月２８日　市は子どもの通院医療費の無料化を小学３年生まで拡大（山形新聞）  　２月２８日　２０１２年度の日本学生野球協会優秀選手に選ばれた酒田南高前主将下妻貴寛捕手に対する表彰伝達式〔山形南高〕（山形新聞）  　２月２８日　東北公益文科大の町田睿学長は上野隆一後援会長と共に公益大で記者会見し「一流体験」合宿型プログラムの実施と女子サッカー部の強化運動部指定を発表（荘内日報）  　２月２８日　市は「砂の風景」をモチーフにした絵画を残した洋画家、國領經郎さんの作品を市に寄贈したとして、相続人代表に感謝状を贈る（荘内日報）  　３月　　　　市県民税など個人の納税について、酒田市は４月からコンビニと郵便局窓口での受け付けを開始（酒田市広報）  　３月　１日　酒田市と市職員、市水道の両労働組合は退職手当の引き下げを４月と翌年４月に行うことで合意（山形新聞）  　３月　１日　県立酒田光陵高校で初めての卒業式が行われ、第１期生４２０人が希望に胸を膨らませて学び舎を巣立った（荘内日報）  　３月　２日　清亀園で開催中の第１回「酒田の古い傘福と古典雛」展を記念し、傘福の歴史に光を当てるとともに今後の取り組みなどを考える講演会とシンポジウム〔希望ホール〕（荘内日報）  ３月　２日　一輪車クラブ「山形田沢っ子Ｌittle Wings」の発表会がひらたタウンセンターで開かれた（山形新聞）  　３月　５日　県立酒田西高校定時制（生徒２１人）の第１回卒業式が希望ホールで行われた  　　　　　　　（荘内日報）  　３月　５日　マリーン５清水屋と市内の茶道７流派で組織する酒田市茶道会はこのほど、同展開催した「チャリテイ茶会」の収益金を市に贈った（荘内日報）  ３月　６日　気象庁気象研究所〔茨城県つくば市〕は庄内空港ビルで行ってきた積乱雲に関する今期の観測を終了し、屋上に設置していた大型レーダーを撤去。観測データはＪＲ羽越本線特急いなほ脱線転覆事故を受けた列車安全運行管理システムの構築に役立てる（山形新聞）  ３月　６日　女優の綾瀬はるかが酒田市を訪れ、相馬楼で酒田舞娘と一緒に踊るシーンを収録（荘内日報）  ３月　７日　商工中金酒田支店でＡＥＤ〔自動体外式除細動器〕の講習会が開かれ、支店職員が設置業者の講話に耳を傾けたほか、実際に操作し有事に備えた（荘内日報）  ３月　７日　山中伸弥京都大教授がiＰＳ細胞〔人口多能性幹細胞〕を作り出すヒントにした、様々な臓器や組織に分化する能力を持つＥＳ細胞〔胚性幹細胞〕の研究に取り組む、酒田東高校出身で京都大再生医科学研究所准教授の多田高が母校で講演（荘内日報）  　３月　７日　市の親子ふれあいサロンが主催した「サロンdeコンサート」が市交流ひろばで開催（荘内日報）  　３月　７日　総合建設業の酒井鈴木工業は同市内の工事現場事務所に設置していた飲料自動販売機の販売手数料を酒田市社会福祉協議会に寄付（荘内日報）  　３月　８日　台湾観光で多大な貢献をしたとして平田牧場会長の新田嘉一に「２０１３台湾観光貢献賞」が贈られた〔表彰式は台北市で２月２２日〕（荘内日報）  ３月８日・９日　江戸期から明治期にかけて北前船の寄進地として栄えた日本海沿岸の地域が連携し、新たな経済・文化・商業圏を打ち立てようという「北前船寄進地フォーラムin庄内－北前船遺産を日本と世界に発信！」が東北公益文科大学公益ホールを中心に開催（荘内日報）  ３月１０日　酒田市国指定史跡・旧鐙屋で「ひなまつり演奏会」が行われ、酒田繁栄の歴史を物語る建物に琴や三味線など日本の伝統楽器の音色が響き渡り穏やかで優しい雰囲気を醸し出した（荘内日報）  ３月１０日　市立酒田看護学校の第１回卒業生が市総合文化センターで行われ、初の卒業生２５人が巣立った（酒田市広報）  ３月１１日　東日本大震災から２年目、国土交通省酒田河川国道事務所と県庄内総合支庁は管理する庄内地域の国道、県道に「海抜表示シート」の設置（荘内日報）  ３月１２日　女性による地域づくりの勉強会「女性の会ローズ」の例会〔ガーデンパレスみずほ〕（荘内日報）  ３月１５日　県内の損害保険代理店でつくる「やまがた損害保険代理協会」は酒田市のＮＰＯ法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会〔砂山弘会長〕に活動基金１０万円を贈った（山形新聞）  ３月１５日　帝国データバンク山形支店によると、事務用機器販売などの酒田感光社（酒田市栄町）は事業を停止し自己破産申請の準備に入った（荘内日報）  ３月１６日　酒田市は「地域版津波ハザードマップ」を作成し該当１３地区に配布（毎日新聞）  　３月１７日　コロンビア料理や文化を紹介する料理教室「ピエダさんのまるごとコロンビア！」が酒田市中町三丁目の交流ひろばで開かれた（荘内日報）  　３月２０日　酒田市立北平田小学校で閉校式。歌手の由紀さおりさんが児童や卒業式、住民らと一緒に童謡を歌って校舎に別れを告げた（酒田市広報）  　３月２０日　１９５０年代まで酒田市松山地域で盛んに製造されていた「松山そうめん」が復刻、販売を開始（荘内日報）  　３月２１日　難関として知られる社会福祉士国家試験で東北公益文科大の合格率が今年も東北地方の私立大１４校でトップ。公立を合わせた１７校でも昨年の３位を上回る２位の成績（荘内日報）  　３月２１日・２２日　酒田商工会議所の「新入社員セミナー」産業会館で開始（山形新聞）  　３月２１日　ブランド豚「平牧三元豚」で知られる平田牧場は東京・丸の内に開業する商業施設「キッテ」に高級の平牧金華豚だけを扱う新業態店をオープン（荘内日報）  　３月２１日　常駐医が不在となっている離島・飛島の酒田市飛島診療所について市は電子カルテシステムの導入を決め、遠隔診療の向上を図る（山形新聞）  　３月２２日　酒田地区広域行政組合が同市八幡、松山両地域で移転新築を進めていた消防署八幡、松山の両分署が完成、式典（酒田市広報）  　３月２２日　大規模災害の発生に備え酒田地区広域行政組合に総務省消防庁から「支援車Ｉ型」が無償配備された。県内では前年の山形市消防本部に次ぐ配備。八幡総合支所南側駐車場でお披露目会（山形新聞）  　３月２２日　酒田地区日中友好協会の中国語講座の閉講式。講座開設１０年を記念して北京市出身の小松宝栄が講演〔東北公益文科大〕（山形新聞）  　３月２２日　酒田青年会議所〔赤谷一典理事長〕の公会例会が酒田勤労者福祉センターで開催。港がもたらした酒田の繁栄と苦難の歴史を学び、住民主導による今後のまちづくりを展望（山形新聞）  ３月２３日　酒田市立中平田小学校で閉校式。児童、教職員合同で学校生活を振り返るオペレッタを披露（酒田市広報）  　３月２３日　東北公益文科大［町田睿学長］の２０１２年年度卒業式・大学院修了式〔公益ホール〕（荘内日報）  　３月２４日　酒田市立東平田小学校で閉校式。１９５８年の校歌制定以前に式典の中で歌われたという「創立記念日の歌」、同校オリジナルの楽曲「学校坂道」を児童達が披露（酒田市広報）  　３月２４日　酒田市凧揚げ大会が最上川河川公園で開かれた。前年と前々年は悪天候などで中止になり３年ぶりの開催（山形新聞）  　３月２５日　酒田「小さな親切」の会〔前田直己会長〕は作文・エッセイ―集「あなたへ  ありがとう―５５の出会い」などを、酒田市教育委員会を通じて市内２７小学校・７中学校全校に寄贈（荘内日報）  　３月２６日　活力ある農業経営に向けて人材育成をめざす酒田市の「スーパー農業経営塾Ⅱ」  　　　　　　　の第４期塾生卒塾式が酒田産業会館で行われた（酒田市広報）  　３月２６日　かつて矢流川にあった朝日山城の城主池田氏ゆかりの刀２振りが矢流川の八幡神社から市立資料館に寄贈（酒田市広報）  ３月２７日　酒田市と県解体工事業協会は大規模災害発生時における建築物などの解体撤去に関する協定書を締結（荘内日報）  ３月２７日　東日本大震災からの復興を願う学校新聞を対象にした「朝日小中学生復興新聞コンクール」で酒田市立松原小学校２年３組が小学校低学年の部で特別賞の「ニッポン前へ委員会賞」に選ばれた。朝日新聞東京本社で表彰式（朝日新聞）  　４月　１日　市では津波対策として新たに防災行政無線屋外拡声子局を１９か所に設置。既存局８か所を改良（酒田市広報）  ４月　１日　市のJA庄内みどりは松山地域特産の「おばこ梅」を使った清涼飲水「梅ジュース」を発売。こくのある酸味とすっきりとした後味が売り物（山形新聞）  　４月　１日　医師をめざす酒田市の学生に贈られる「白崎資金医学振興奨励金」の２０１３年度贈呈式が日和山公園内に移築された旧白崎医院〔市指定有形文化財〕で行われ、今春秋田大の医学部に合格した２人に市教育長から奨励金の目録が手渡された（酒田市広報）  ４月１日～１０日　東泉町二丁目自治会〔早藤政敏会長〕の「自作展」が泉学区コミュニティセンターで開かれ、地域住民が作った様々な作品を展示（山形新聞）  ４月　２日　酒田市などで組織する「酒田の食パンフ制作実行委員会」はテーマを「食」に絞ったパンフレット「さかた味さんぽ」を発行（荘内日報）  ４月　２日　就園前の幼児とその親が英語の歌に合わせて一緒に体を動かしながら簡単な英語を身につける「親子で楽しむ幼児英語体験教室」が酒田市飛鳥の平田子育て支援センターで開かれた（山形新聞）  ４月　３日　第２管区海上保安部（宮城県塩釜市）は、７月から沿岸域情報提供システム（MICS）を利用した「海の緊急情報配信サービス」を開始することになった。県内では、 酒田、加茂、由良、鼠ヶ関の４港で津波や台風などにより港からの避難勧告が出た際、リアルタイムで電子メールを送信する（山形新聞）  ４月　３日　市立酒田看護専門学校の第１期生２５人は全員看護師国家試験に合格した。うち１０人が日本海総合病院、２人が本間病院、３人が山容病院、１人が遊佐病院に就職、村山地区と首都圏の病院に各４人の勤務が決まり、１人は奈良県内の短大の保健師養成コースに進学（荘内日報）  ４月　４日　荘内ガス［江良昌三社長］は酒田市に観光用自転車１０台を寄贈。今回の１０台を含めて寄贈累計は２９５台になった（酒田市広報）  ４月　５日　東平田、中平田、北平田の３小が統合して誕生した平田小の開校式が同小で行われ、新しい歴史を祝った（酒田市広報）  ４月　７日　酒田市消防団〔熊谷文昭団長〕の２０１３年度辞令交付式がひらたタウンセンターで行われた（酒田市広報）  ４月　９日　春の火災予防運動〔９日～２２日〕に合わせた酒田地区広域行政組合消防本部の防火パレードが酒田市内で行われた。平田総合支所前で出発式が行われ、消防署員、消防団員ら８４人が参加した（山形新聞）  ４月１０日　市民団体「万里の松原に親しむ会」が仙台市若林区荒浜地区でクロマツなどの苗木を植樹した。東日本大震災で被災した仙台湾沿岸の防災林を復活させようと同会のメンバーら約５０人が参加し、クロマツ５００本とヤマザクラ１０本を植えた（荘内日報）  ４月１０日　市役所庁舎東側駐車場の拡張工事が着工。新庁舎建設第１期工事が７月に始まるのに伴い、正面駐車場が建築場所や資材置き場などとして使えなくなることから駐車場不足に対応するための先行工事（荘内日報）  ４月１０日　大商金山牧場〔酒田市、小野木重弥社長〕の「米の娘（こめのこ）ぶた」が東京で開催された食肉産業展の「銘柄ポーク高感度コンテストグランドチャンピオン大会」で最高賞〔農林水産省生産局長賞〕を獲得（山形新聞）  ４月１０日　鶴岡市の羽黒町観光協会が募集した「出羽三山の里フォトコンテスト」に最高賞の特選に酒田市宮野浦　田代貢一の作品「雪代に穢れ去る」が選ばれた（荘内日報）  ４月１１日　酒田市地域おこし協力隊の委嘱状交付式〔市役所〕１２日から１年間、飛島での生活をスタートさせる神庭 〔かんば〕友人〔東京都大田区〕に委嘱状が渡された（酒田市広報）  ４月１１日　市立酒田看護専門学校の入学式が同校で行われ、新入生３０人が看護の道を歩み出した（酒田市広報）  ４月１１日　津波が発生した際の市民に避難場所として酒田市が民間企業などと協定を結んだ「津波避難ビル」について、市は標示板の設置作業を始めた。順次計２３ヵ所の津波避難ビルに設置を進める（山形新聞）  ４月１１日　酒田警察署の「高齢者交通安全指導員」の委嘱状交付式・研修会。任期は１年（山形新聞）  ４月１２日　酒田警察署の本楯、鳥海両駐在所が統合され、酒田市本楯に北酒田駐在所が開所（山形新聞）  ４月１５日　市は若竹町一丁目の港南公園にある標本木の開花を宣言。翌１６日午後には日和山公園でも花が咲いているのを確認（荘内日報）  ４月１５日　農業所得の向上を図る酒田市園芸特産化支援センターが庄内バイオ研修センター内に開所。市と農協が協力し、米プラスアルファーの複合経営を推進する。手始めにネギとミニトマトの産地化をめざす（山形新聞）  ４月１６日　飛島の勝浦地区で後継者がいなくなり途絶えていた伝統神事「天狗舞」が４年ぶりに復活。天狗が遠賀美神社の本殿で舞う（朝日新聞）  ４月１６日　酒田青年会議所、酒田商工会議所青年部、酒田法人青年部の酒田市内青年３団体が酒田勤労者福祉センターで「青年団体フォーラム～未来の酒田を創造する」を開催。３団体合同のフォーラムは初めて（荘内日報）  ４月１６日　２０１３年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労賞に県内から３社９人が選ばれた。庄内関係では東北エプソン〔酒田市〕勤務する小野美智輝、大瀧健児、高橋真士の３人が半導体製造工場における熱エネルギー改善の業績で受賞（荘内日報）  ４月１７日　東北公益文科大学で１年生の必修科目となっている「公益概論」の第１回講義があり、初の試みとして新田嘉一理事長が講師を務めた（山形新聞）  ４月１８日　市指定文化財の亀ケ崎獅子舞が亀ケ崎十一面観音堂に奉納された。亀ケ崎獅子舞は静と動を組み合わせた古式十二段の三幕、約４０分間の舞、女獅子で踊り手がすり足で優雅に動く。悪魔を払い、家内安全や身体堅固、五穀豊穣を願う（山形新聞）  ４月１９日　結婚５０年を迎えた夫婦を祝う山形新聞・山形放送の「おしどり金婚さん」顕彰〔酒田市の平田農村環境改善センター〕（山形新聞）  ４月２０日　酒田市中北目地区に伝わる神楽〔市指定無形民俗文化財〕が地区の鎮守・皇太神社で奉納上演された。庄内各地に残る神楽の原型ともされる（荘内日報）  ４月２０日　酒田ユネスコ講演会が酒田市総合文化センター。講師：酒田北前大使・白崎映美「みんなを　あったかぐする　おらがだの酒田弁」（山形新聞）  ４月２０日　酒田市の夏の夜空を彩る「２０１３酒田花火ショー」のプレゼンテーション・決起集会〔酒田産業会館〕出羽国成立から１３０１年目を記念して開催（山形新聞）  ４月２０日・２１日　酒田市松山地域の名所や旧跡を訪ねる「花の城下町『まつやま』探訪」開催〔松山歴史公園〕（山形新聞）  ４月２１日　北海道犬の体格などを競う展覧会が酒田市の荘内銀行卸町出張所で開かれた。県内外から６８匹がエントリーし雄姿を披露（山形新聞）  ４月２１日　出羽遊心館で「春の市民茶会」が開催。市民ら約４００人が訪れ風流なひとときをゆったりと過ごした（荘内日報）  ４月２１日　酒田市に本部を置く書道教育センターを主宰する書家・平田羽山〔本名・誠〕が所蔵する書家や画家らによる色紙を集めた展示会が同市亀ケ崎二丁目の書の庵内「ギャラリーなご美」で開催（荘内日報）  ４月２４日　平田Ｂ&Ｇ海洋センターのプールが老朽化に伴い今夏修繕される。ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が費用の約６割を助成。助成決定書授与式〔市役所〕（山形新聞）  ４月２５日　酒田商工会議所の商業３部会は酒田市の産業会館で「おもてなし研修会」を開催（山形新聞）  ４月２５日　第４９回酒田市長杯争奪モーニング野球大会の主将会議と組み合わせ抽選会が酒田市総合文化センターで開催。今年は２０チームによるトーナメント（山形新聞）  ４月２６日　現代書分野の次代を担う書家を顕彰する「国井誠海書奨励基金」の第１６回受賞に酒田市：関原愛子［きらやか銀行］が選ばれた（山形新聞）  ４月２７日　酒田市の飛島にカフェスペース「しまかへ」がオープン〔９月３０日まで〕（荘内日報）  ４月２７日　連合系の「メーデー」集会が行われた。酒田飽海地区メーデー実行委員会の集会は日和山公園で約７００人が参加した（荘内日報）  ４月２７日　光ケ丘公園と隣接するクロマツ林・万里の松原を歩きながら清掃活動「山をきれいにしてウォーキング」が行われた（山形新聞）  ４月２８日　升田の「玉簾の滝」のライトアップ〔６月６日まで〕　玉簾の滝は落差６３ｍ、幅５ｍの直瀑。弘法大師が発見したと伝えられ、かつては山岳信仰の修験の場とされる（山形新聞）  ４月３０日　酒田市老人クラブ連合会酒田支部総会〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  ５月　　　　庄内地方で第１号となる「子育てタクシー」スタート〔港タクシー〕（山形新聞）  ５月　１日　日本海総合病院酒田医療センター〔千石町〕が療養病棟、デイケア施設、リハビリテーション病棟、機能訓練室などを整備改修して新たにオープン（酒田市広報）  ５月　１日　松山地域で伝統の武者行列が行われ、騎馬や甲冑姿の武者約１００人が勇壮に地域内を練り歩いた（荘内日報）  ５月　１日　八幡地域で八幡神社と飛澤神社の例祭が行われた（荘内日報）  ５月　１日　琢成小学校３～６年生１７６人が学区内の日和山公園で清掃活動（荘内日報）  ５月　１日　全労連系の酒田飽海地区メーデーの集会は中央公園で行われた（荘内日報）  ５月　１日　海難事故の未然防止を図ろうと海上保安部は酒田市内のアリーナや釣り場で安全指導を実施（荘内日報）  ５月　２日　本楯地区の大物忌神社で、本楯神代神楽が勇壮に奉納に上演（荘内日報）  ５月　３日　平田Ｂ&Ｇ海洋センターヨットカヌー場が営業開始（荘内日報）  ５月　３日　田沢地区の薬師神社本殿から胎蔵山（標高７２９ｍ）山頂の同神社奥の院までご神体の薬師如来を背負って鎮座する「ご神体背負い上げ」が行われ、この１年間の健康などを祈った（荘内日報）  ５月　５日　本間美術館の田中章夫館長の案内で、１８１３年の築造から今年で２００年の節目を迎えた本間氏別邸庭園「鶴舞園〔かくぶえん〕」〔国指定名勝〕、本間家別荘「清亀園」を散策するイベントが開かれた（荘内日報）  ５月　８日　庄内空港の搭乗者が８００万人になり記念式典。空港は平成３年１０月に開港、現在の定期便は東京便のみだが、大阪などへ乗り継ぎ割引制度があり仕事や観光に利用されている（酒田市広報）  ５月　９日　大規模太陽発電所〔メガソーラー〕の建設を計画している酒田港リサイクル産業センターは酒田市宮海の建設地で起工式。メガソーラーの整備は庄内では初めて、９月に稼働予定（荘内日報）  ５月　９日　港南小学校〔１４９人〕が最上川河川公園で清掃活動。１９８１年（昭和５６）以来、毎春続けてきた“伝統行事”だが次年度統合予定のため今年が最後の活動（荘内日報）  ５月１１日　酒田市「緑の少年団」入団式〔総合文化センター〕。小中学生２３人が入団（荘内日報）  ５月１１日　東日本大震災の教訓を市民の防災意識の高揚につなげようと酒田市の東北公益文科大地域供創センターで地域防災ワークショップを開催（山形新聞）  ５月１１日　大型客船「ふじ丸」〔約２万３０００トン〕酒田港に寄港、歓迎式典。乗客２１５人のうち半数余りが下船して市内観光、羽黒山参拝、庄内映画村資料館見学などを楽しんだ（荘内日報）  ５月１２日　東日本大震災の被災地支援に向け、酒田市麓の「鳥海やわた観光」は同社が運営する同市草津の鳥海山荘西側の畑にヒマワリの種約４万粒を捲いた。種をつける７月下旬にはイヌワシをかたどった巨大な「ヒマワリ迷路」がお目見えするほか、採取した種を大震災で被災した福島県南相馬市にある福祉作業所に送る（荘内日報）  ５月１４日　日本海総合病院の南側歩道に「あきほ市」がオープン（荘内日報）  ５月１６日　医療法人宏友会の上田診療所が毎月１回発行する「診療所だより」が同月１日で３００号を数えた。２５年間絶やすことなく地域の話題などを発信（山形新聞）  ５月１６日　酒田ふれあい商工会〔中瀬義秋会長〕の通常総代会〔松山農村環境改善センター〕会員事業所の従業員２５人を表彰（荘内日報）  　５月１９日～２１日　酒田まつり。１９日の宵祭りは日和山公園にステージが置かれ、立て山鉾がライトアップされ、郷土芸能やパフォーマンスが披露。２０日の本祭りの山車行列にはディズニーリゾート３０周年を記念してスペシャルパレードが行われミッキーマウスをはじめキャラクター達が登場（酒田市広報）  ５月２３日　鶴岡信用金庫は鶴岡、酒田両市と観光招致に関する連携協定を締結（山形新聞）  　５月２３日～７月　酒田市大通り商店街に設置されているアーケードの撤去工事開始。ＬＥＤの街路灯を設置（荘内日報）  ５月２５日　酒田東ロータリークラブが社会貢献活動の一環として酒田市にアジサイを寄贈。飯森山公園内のアジサイ園で記念植栽（山形新聞）  　５月２５日　南遊佐地区の「ふるさと花と緑の集会」が同地区で開かれ、地域住民と南遊佐小の児童、鳥海保育園の園児計２６０人が地区内の公民館や学校周辺に約４５００本の花苗を植栽（山形新聞）  ５月２６日　酒田市消防団の春季消防演習が北港緑地多目的広場で行われ、約１０００人の市内の団員が参加（酒田市広報）  ５月２６日　酒田市松山地域の出身者でつくる東京松山会の総会・懇親会開催〔東京グリーンパレス〕（荘内日報）  ５月３１日　酒田地区交通安全協会総会〔ベルナール酒田〕交通安全に功績のあった個人、団体、学校を表彰他、２０１３年度の重点対策の決定（荘内日報）  ６月　１日　全酒田写真連盟の第４０回土門拳杯写真コンテストの入賞作品決定。最高賞の土門拳杯賞は今野正〔78〕＝酒田カメラクラブ＝の「風雪の中の登校児童」  　　　　　　（荘内日報）  ６月　３日　市はインターネットの交流サイト「フェイスブック」の市公式ページを開設、運用。広く利用されている交流サイトを活用し、市の情報をタイムリーに伝える（山形新聞）  ６月　３日　全日空は入院患者に安らぎを贈ろうと酒田市の日本海総合病院と鶴岡市立荘内病院に花言葉が「幸せ」のスズランと栞をプレゼント（山形新聞）  ６月　４日　ドクターヘリの広域連携、飛島をカバー。知事は秋田県に対し県境での連携運航ができるよう協定の締結要請（山形新聞）  ６月　４日　酒田スワンロータリークラブは黒森歌舞伎妻堂連中に、かつらや衣装などの修繕・購入に役立ててほしいと３０万円を寄付（荘内日報）  ６月　５日　酒田商工会議所は酒田産業会館で「さかた着地型観光研修会」を開き、大阪あそ歩（ぼ）委員会の茶谷幸治代表理事が「まち歩き」をテーマに講演（山形新聞）  ６月　５日　カステラやどら焼きなどの生菓子を製造する「たんばや製菓」〔庄内町狩川〕が酒田市飛鳥のひらた軽工業団地に移設（読売新聞）  ６月　６日　首都圏在住の酒田市出身者らで組織する古里会「ふれあい酒田」の２０１３年版ブックレット発刊（荘内日報）  ６月　６日　酒田光陵高に応援歌ができた。全校生徒から言葉を募り、応援委員会が作詞作曲。勇壮な歌に仕上がった（山形新聞）  ６月　６日　異業種交流グループ・タブノキ会例会［香梅咲］。県詩人会の高瀬靖会長が「鵜渡川原人形にみる酒田の文化考」と題して講話（山形新聞）  ６月６日～８日　日本海総合病院で高度な医療サービスを受けるために中国・黒竜江省ハルビン市から訪問。最先端の人間ドックを受診（荘内日報）  ６月　７日　陸上女子走り幅跳びの日本記録保持者で北京五輪代表井村（旧姓池田）久美子が引退表明。今後は三重県鈴鹿市を拠点とする自身の陸上教室で指導（山形新聞）  ６月　８日　羽州庄内松山城薪能が松山歴史公園で上演。かがり火が揺らめく中、地元の保存団体が能「羽衣」を披露（山形新聞）  ６月　８日　天真幼稚園で「食のお話し会」と題した食育教室開催。健康補助食品などを販売「玄米酵素」の林賀吾郎（酒田市出身）が「よい子が育つ『おいしいご飯』」のテーマで講演（荘内日報）  ６月　９日　酒田市中町の活性化や地元の農林水産物のＰＲをめざす直売店「さかた中町(まんなか)マルシェ」が開店から１周年（山形新聞）  ６月　９日　スルメイカ（真イカ）を追って日本海を中心にロシア海域や太平洋で操業する「山形船団船友漁撈長会」の中型イカ釣り船団の出航式〔酒田港袖岡埠頭〕（荘内日報）  ６月　９日　酒田市東部でカモシカ１頭出没（山形新聞）  ６月１０日　県子育て推進部若者支援・男女共同参画課は２０１３年度やまがた若者チャレンジ応援事業の採択事業を決定。庄内関係では酒田市の「飛島ロマン」に９６万円が補助（荘内日報）  ６月１１日　翌年６～９月の山形デスティネーションキャンペーン（ＤＣ）を前に酒田市と市内商工・観光団体などは産業会館で山形ＤＣ酒田推進協議会の設立総会を開催（荘内日報）  ６月１１日　設立１５周年の節目を迎えた酒田「小さな親切」の会は記念事業として４０万５千円分の図書カードをプレゼント（荘内日報）  ６月１２日　離島の歴史・文化・漁業の伝統などを守りながら、島の活性化を図る事を考えたいと飛島勝浦で「とびしま漁村文化研究会」の設立総会（荘内日報）  ６月１４日　庄内の旬の食材を用いた料理と日本酒を味わう「初孫の酒を楽しみ会」が開かれた〔産業会館〕レストラン欅が主催、東北銘醸後援１５回目（荘内日報）  ６月１５日・１６日　写真と食を楽しむフォト食女子会が飛島で開催（酒田市広報）  ６月１７日　世界各地でリレー遠泳を楽しんでいる平均年齢６０歳超のチーム「織り姫」が酒田市宮野浦海岸から飛島の百合島までリレー横断成功（山形新聞）  ６月１９日　子供たちに乳児とのふれあいを通して育児の楽しさや命の大切さを学んでもらおうと、酒田第一中学校で赤ちゃんと母親を学校に招いた講座が開催（読売新聞）  ６月１９日　プロ野球交流戦・最高打率で長谷川勇也選手〔酒田南出身〕がソフトバンクの優勝に貢献（山形新聞）  ６月１９日　東京都内で本県出身者の学生寮を運営している公益財団法人やまがた育英会は  　　　　　　代表理事に上野榮枝＝東京都中央区〔酒田東・東京大〕を選出（荘内日報）  ６月１９日　第５０回県民芸術祭で優秀賞を受けた日本舞踊千川流の祝賀会がホテルリッチ&ガーデンで開かれ、関係者が受賞を喜び、さらなる発展を誓った（山形新聞）  ６月１９日　酒田・庄内両市町の居酒屋「三代目兵六玉」〔白崎文雄社長〕は、このほど開催したゴルフコンペで集まった寄付金を寄贈（荘内日報）  ６月２０日　酒田湊ロータリークラブが酒田市教育委員会と県立酒田特別支援学校に環境図書２９冊を寄贈（山形新聞）  ６月２１日　県庄内総合支庁酒田農業技術普及課が主催した県産米「つや姫」の現地検討会が酒田市漆曽根の展示圃場で開かれ、酒田飽海地区のつや姫生産者約６０人が生育状況に応じた管理について理解を深めた（荘内日報）  ６月２２日　酒田市が主催する「光ケ丘公園環境美化活動ボランティア」が光ケ丘公園と万里の松原で行われ、市民が一帯の下草刈りやゴミ拾いに汗を流した（荘内日報）  ６月２２日　酒田市の女子サッカークラブ「レガーレ酒田」創設１０周年記念祝賀会〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  　６月２３日　第１０回希望いっぱいコンサート。希望ホールが平成１６年に開館した事を記念してスタートした市民手づくりのコンサート（酒田市広報）  　６月２３日　みなと酒田トライアスロンおしんレースが北港多目的グランド周辺で開催〔ゲスト参加：古田敦也と為末大〕（酒田市広報）  　６月２３日　東北公益文科大で小学生４～６年生対象の科学体験教室「かずのふしぎ、しぜんのふしぎ」が開かれた（荘内日報）  　６月２３日　日本海沿岸東北自動車道〔日沿道〕の早期完成をめざす第２５回日本海夕陽ラインシンポジウムin酒田が東北公益文科大公益ホールで開催（荘内日報）  ６月２４日　花王は酒田市大浜二丁目の酒田工場敷地に乳幼児用紙おむつ「メリーズ」の工場を新設すると発表。９月着工、翌年春の稼働をめざす（山形新聞）  　６月２４日　大規模地震災害で陸上の消火用設備が使えなくなる場合に備え、酒田地区広域行政組合消防署と酒田海上保安部が酒田港で消防車と巡視艇の連携送水訓練（山形新聞）  　６月２５日　木下サーカスのステージや舞台裏を切り取った写真集「サーカス」を酒田市のアマチュア写真家松本千鶴子〔68〕が出版（山形新聞）  　６月２５日　本市と多賀城市は災害時の相互応援協定を結ぶ〔多賀城市役所〕（酒田市広報）  　６月２５日　庄内浜クリーンアップ作戦が酒田市十里塚海岸を皮切りに始まった。同海岸を含む市内４か所で周辺住民や児童らが清掃活動（山形新聞）  　６月２５日　酒田獅子舞振興会総会〔浜田コミュニティ防災センター〕伝統芸能の継承と後継者育成のため市内の獅子舞各団体と「山形県酒田獅子舞保存会〔仮称〕」の結成をめざすなど事業計画を決めた（荘内日報）  　６月２５日　酒田市中町の直売店「さかた中町（まんなか）マルシェ」の開店１周年を記念した料理教室〔泉学区コミュニティ防災センター〕（山形新聞）  　６月２６日～９月８日　土門拳記念館開館３０周年記念展とし、「土門拳と美学～強く美しいもの」を開催（山形新聞）  ６月２７日　若者が地元に定着し、暮らし続ける事のできるまちをめざす酒田市雇用創造協議会総会〔市役所〕（荘内日報）  ６月２９日　未整備区間の日本海沿岸東北自動車道〔日東道〕の新潟、秋田両県境部の事業化が正式決定。ガーデンパレスみずほで報告会と祝賀会（山形新聞）  ６月２９日　国が地方交付税の削減に合わせて求めた地方公務員の給与削減について、酒田市職員の給与削減も酒田市議会臨時議会で可決。一般職で平均３．７％カット（荘内日報）  ６月２９日　酒田市のＮＰＯ法人酒田ロケーションボックスが街歩きの市民ガイド「むかえびと」の第１回講座をスタート〔旧割烹小幡〕（山形新聞）  ６月２９日　マラソンとピクニックを合わせた造語「マラニック」のイベント開催。山形新幹線庄内延伸、新庄―酒田間の地域高規格道路の早期開通を目的に市民有志らの実行委員会主催（山形新聞）  ６月２９日・３０日　「貴婦人」の愛称で知られる蒸気機関車〔ＳＬ〕Ｃ５７がＪＲ羽越本線村上―酒田駅間で運行（荘内日報）  ６月２９日・３０日　東北公益文科大の１年生達が羽黒山の斎館を拠点に山伏修行に挑戦、「鎮魂」などを通じて人間力アップ（荘内日報）  ７月　１日　若者が地元に定着し、将来的に暮し続けることのできるまちをめざす酒田市雇用創造協議会の職員に採用された８人に辞令交付（荘内日報）  ７月　１日　プロ野球マツダオールスターゲーム２０１３年に酒田南高出身の長谷川勇也選手が２度目の出場（山形新聞）  ７月　２日　経済産業省東北経済産業局は酒田駅前、大通りの両商店街振興組合が申請した商店街活性化事業計画など２件を認定（山形新聞）  ７月　３日　全国的な風疹の感染拡大を受け、市は風疹ワクチン接種費用の半額を助成。妊娠を希望する女性らを対象にし、期間は今年度いっぱい（山形新聞）  ７月　３日　酒田市のリサイクル業者などが出資する「市民ソーラー酒田第１号」が同市松山地域に設置を進めていた５００ｋｗの太陽光発電所が２日に稼働し、完工式と現地見学会（山形新聞）  ７月　３日　酒田地区広域行政組合消防本部は無火災千日を達成したとして、日向地区自治会を表彰〔八幡総合支所〕（山形新聞）  ７月　４日　栃木県那須塩原市の東北自動車道下り線で乗客１４人を乗せたＪＲ横浜駅発酒田行きの大型バスが車両運搬用キャリアカーに追突。死者１、重軽傷者１１人（山形新聞）  ７月　４日　山形新聞酒田専売所の平野新聞舗は、宅配事業「ほっとおつかい便 Ｍotteku（もってく）」をスタート（山形新聞）  ７月　４日　自民党青年局長の小泉進次郎衆議院議員が飛島を訪れ、街頭演説（荘内日報）  ７月　５日　市立酒田看護学校専門学校の宣誓式〔酒田勤労者福祉センター〕（山形新聞）  ７月　５日　庄内浜の新しい顔となる水産加工品を開発し、本県が会場となる「全国豊かな海づくり大会」〔２０１６年度〕でアピールしようという産学官の連携組織「庄内水産加工振興コンソーシアム」設立〔産業会館〕（荘内日報）  ７月　６日　酒田マリーンジュニア合唱団が特別養護老人ホームかたばみ荘を訪問。歌声を披露、訪問活動は１０回目（酒田市広報）  ７月　６日　男女共同参画を落語で学ぶ講座：落語創作・口演家の千金亭値千金〔総合文化センター〕（山形新聞）  ７月　６日　１０１歳の現役医師で聖路加国際病院理事長・名誉院長の日野原重明の特別講演会〔市公益研修センター〕（山形新聞）  ７月　６日　酒田市教育委員会の「チャレンジものづくり塾」開講式〔総合文化センター〕（荘内日報）  ７月　７日　第４１回酒田市民体育祭〔市光ケ丘陸上競技場〕(荘内日報)  ７月　７日　情報関連機器製造などのセイコーエプソンは次世代インクジェットプリントヘッドの量産のため、約１６０億円を投資。子会社の東北エプソン〔酒田市〕に４０億円の新生産ラインを構築（山形新聞）  ７月　８日　活発化した梅雨前線の影響で庄内地方は一時的な大雨に見舞われ冠水。山形地方気象台によると、酒田市浜中で午前１１時までの１時間雨量が４ミリに達し、２００３年の統計開始以来７月の１時間当たり最大雨量を更新（荘内日報）  ７月　８日　東北農政局は東北地域から酒田市新栄水産〔酒田市山居町〕と県漁業協同組合〔酒田市船場町〕「あみえび醤油（魚醤）と関連商品の開発とブランド化」など２件を農商工連携事業計画として認定・認定書の交付（荘内日報）  ７月　８日　「飛鳥ブランド・プレゼンテーション」と審査会〔平田農村環境改善センター〕  　　　　　　（荘内日報）  ７月　９日　庄内浜の魚食文化を伝える「うめぜ！庄内ごっつお教室」〔酒田調理師専門学校〕（荘内日報）  ７月　９日　空き家対策を進めるため市は民間団体と連携し、「市空き家等ネットワーク協議会」を設立（山形新聞）  ７月１０日　酒田・遊佐・庄内の３市町で組織する酒田圏域観光物産事業実行委員会総会〔総合文化センター〕（山形新聞）  ７月１０日　観光による地域振興をめざす「観光まちづくり」について学ぶセミナーの開催  〔市交流ひろば研修室〕（荘内日報）  ７月１１日　在来野菜など酒田市の特色ある農林水産物の生産者を飲食店関係らが訪ね、新たな食材加工の道を探ろうという「さかた中町（まんなか）マルシェ・産地探訪」の第１弾「鵜渡川原きゅうり」編（荘内日報）  ７月１２日　酒田民俗学会の機関紙「酒田民俗」第６号発行（山形新聞）  ７月１５日　菅義偉（すがよしひで）内閣官房長官の国政報告会〔酒田産業会館〕（荘内日報）  ７月１５日　「海の日」に合わせて酒田海上保安部は酒田市高砂の酒田灯台を一般公開（荘内日報）  ７月１６日　市は５月に続き２回目となる新庁舎建設の工事入札を行ったが落札しなかった（毎日新聞）  ７月１７日　県立酒田光陵高校で「さかた観光プランニング講座」開催（荘内日報）  ７月１８日　国際協力機構（ＪＩＣＡ）の青年海外協力隊員として今年６月まで２カ年、パプアニューギニア・東ニューブリテン州政府に派遣された小野友幸が酒田市役所を訪問、帰国報告（荘内日報）  ７月１９日　酒田光陵高と県立産業技術短期大学庄内校は、教育連携に関する協定を締結（山形新聞）  　７月１９日　８日・１８日の豪雨により市内の市道、農道、林道など約９０か所で法面（のりめん）放免崩落や土砂崩れ、地滑りなどの災害が発生（酒田市広報）  　７月１９日　海上航路安全祈願祭・功労者表彰式〔県庄内総合支庁港湾事務所・産業会館〕（山形新聞）  ７月２０日　眺海の森２５周年記念。新しい松山人工スキー場オープン（酒田市広報）  　７月２０日　酒田市の地元産品を多くの市民らに購入・利用してもらおうという「バイさかた市」が「地産地消でつながる酒田」をテーマに中町モールで開催（荘内日報）  　７月２２日　酒田地区日中友好協会はガーデンパレスみずほで設立３０周年記念講演会開催（山形新聞）  ７月２２日　「酒田・庄内地区きらやか経営塾」総会〔ガーデンパレスみずほ〕（荘内日報）  ７月２３日　「安全と安心のまち酒田」市民大会〔酒田市民会館〕（山形新聞）  ７月２３日　お笑いコンビ「南海キャンディーズ」のしずちゃんことボクシングの山崎静代選手のコーチで酒田市出身の梅津正彦 〔44〕が死亡（毎日新聞）  ７月２３日　今年３月に設立した合同会社とびしまは、飛島産のイカをふんだんに使用したレトルトカレーの新商品「イカスミブラックカレー」の販売開始（荘内日報）  ７月２４日　酒田市倫理法人会のモーニングセミナー〔さかたセントラルホテル〕講演：ネパールで活躍する垣根一雅（山形新聞）  ７月２５日　酒田市産業振興貢献企業表彰式が酒田産業会館で行われた（荘内日報）  　７月２６日　土門拳記念館で開館３０周年を記念し夜間開館とミュージアムコンサートを行う（酒田市広報）  　７月２６日　身体障害者の自立と理解ある地域社会の構築を目的に、県身体障がい者福祉大会開催〔酒田市民会館〕（山形新聞）  　７月２６日　県政に役立てようと「知事のほのぼの訪問」が酒田市八幡地域の特別老人ホーム「幸楽荘」で行われた（荘内日報）  　７月２７日　旧割烹小幡に週末カフェ開設。８月中旬まで（山形新聞）  　７月２７日　眺海の森音楽祭「ＬＯＶＥ　ＷＯＲＬＤ　in　眺海」が松山農村環境改善センターで開催（山形新聞）  　７月２７日　みなとオアシスまつりとみなとカヤックまつりツーリングが酒田港で開催。カヤックツーリングは初開催（山形新聞）  　７月２７日　酒田地区広域行政組合消防本部の一日消防士体験が酒田市の消防署西分署で開かれ、管内３市町の児童達が放水や救助訓練を体験（荘内日報）  　７月２７日　日本海総合病院は、カテーテルを用いて特定の血管を撮影する装置を組み込んだ「ハイブリッド手術室」を病院内に整備（荘内日報）  　７月２７日　土門拳記念館で、「金子みすゞを歌う」と題してミュージアムコンサート」を開催（荘内日報）  　７月２７日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業希望ホール自主事業共催事業  　　　　　　　由紀さおり・安田祥子～うたが咲いています～（酒田市広報）  　７月２８日　さわやか県一輪車競技大会が酒田市陸上競技場などで行われた（山形新聞）  　７月２９日　「どろリンピックin観音寺２０１３」が酒田市小泉の休耕田で開催。市民が全身泥だらけになりながらソフトバレーボールを楽しんだ（山形新聞）  　７月２９日～８月２日　夏休み子ども大学が東北公益文科大学で開始（山形新聞）  　７月３０日　空き家総合対策の一環として「空き家等見守り隊モデル事業」モデル地域の指定を受けた若竹町北部自治会で初めての打ち合わせ会開催（荘内日報）  　７月３１日　全国１３県知事らが観光拠点を巡り、プレＤＣ（デステイネーションキャンペーン）の取組を視察。山居倉庫と相馬楼を見学（山形新聞）  　７月３１日～８月６日　松山中学校と姉妹校のアメリカ合衆国マサチューセッツ州のライトハウスチャータースクール９人の中学生が訪れ、ホームステイを通してお互いの国・地域の文化を体験し交流を深めた（酒田市広報）  　８月　１日　気象庁は７月の天候のまとめを発表。酒田市が平年の３．８倍に当たる７８５．５ミリで観測史上最多の更新（山形新聞）  ８月　２日　土門拳記念館第３０回拳ちゃんこども写真コンテスト。特選４年田賀光栄（ひかる）「ベンチと子供」（山形新聞）  ８月　２日　松山地域の松山多目的運動広場に愛称「楽天イーグルス酒田松山ボールパーク」調印式と看板披露式（酒田市広報）  　８月　２日　酒田市衛生組織連合会総会〔酒田勤労者福祉センター〕（山形新聞）  　８月　２日　酒田ＦＲＣ有限責任事業組合が製造販売する石炭灰のリサイクル再生砕石が東日本大震災で被災した小名浜港の港湾岸壁復旧工事の資材に採用され、運搬船が初出港（山形新聞）  ８月２日～２９日　本間美術館〔酒田市〕と致道博物館〔鶴岡市〕が互いの所蔵品を交換して公開交流展「出羽庄内の宝物」（山形新聞）  ８月３日・４日　海上自衛隊護衛艦「すずなみ」「うずしお」一般公開・体験航海（酒田市広報）  　８月　５日　バレーボール女子のファミリーマートカップ全日本小学生大会に本県代表として出場する若浜スポ少が市役所で飛躍を誓った（山形新聞）  　８月　５日　姉妹都市ロシア・イルクーツク州ジェレズノゴルスク・イリムスキー市を訪れる使節団の結団式（荘内日報）  　８月　６日　製材会社の倉庫壁面をキャンバスにした壁画作りが一條地区で行われ、端材を使った巨大なヒマワリのモザイクが誕生（山形新聞）  　８月　８日　八幡地域の八森運動公園野球場で県消防防災航空隊と酒田地区広域行政組合消防本部による合同訓練（酒田市広報）  　８月　８日　７月に結成された酒田地区警友会の有志による「地域高齢者見守り隊」の初めての活動が市内スーパー２店舗前で行われた（荘内日報）  　８月　８日　東北公益文科大学後援会総会・講演〔公益大公益ホール〕（荘内日報）  　８月　９日　公正取引委員会と酒田商工会議所の懇談会〔酒田産業会館〕（山形新聞）  　８月　９日　「とどけようスポーツの力を東北へ！」をテーマに掲げた第１０回全日本一般ソフトボール大会開催〔国体記念体育館〕（酒田市広報）  　８月１０日　マリーン５清水屋エントランスで「街かどコンサート」合唱や管弦楽、三味線など音楽団体が歌声や演奏（荘内日報）  　８月１０日　庄内交通観光バスが所有するレトロバスが「ふれあい夏祭り」が行われた酒田市一條地区を巡回、地区民を送迎（荘内日報）  　８月１１日～１８日　本市と姉妹都市のジェレズノゴルスク・イリムスキー市〔ロシア〕を本市使節団が訪問。使節団一行１２人は現地の高校生と交流を深めた（酒田市広報）  　８月１１日　飛島出身のヒップポップアーティストでＨiＤＥＮ（本名小関英之）がＴＳＵＴＡＹＡ酒田北店で発売記念ライブ、収録曲などを披露（荘内日報）  　８月１２日　坂野辺新田の女性方の庭で不発弾１個見つかる（読売新聞）  　８月１２日～１９日　酒田市升田の玉簾の滝、夜間ライトアップ（荘内日報）  　８月１４日　酒田市中心街地の大通り商店街で「酒田燈篭まつり」（荘内日報）  　８月１５日　平田地域の新山地区に伝わる県指定無形民俗文化財「新山延年舞」（山形新聞）  　８月１６日　坂野辺新田の八幡神社の夏祭りで、フィンランドで開催された「第６回世界躰道選手権大会」で金メダルを獲得した佐藤祐歩・美侑姉妹が世界一の技を奉納演武（荘内日報）  ８月１７日　「世界がもし１００人の村だったら」の著書で、平和運動家としても知られる池田香代子講演会〔酒田市平和推進事業〕〔総合文化センター〕（荘内日報）  ８月１９日　知事が離島・飛島を訪れ、若者たちが運営するカフェやかんきつ類の試験栽培場などを視察（山形新聞）  ８月１９日　離島・飛島で約１年５ヵ月間、不在状態が続く診療所常勤務に関し、長野県在住の５０代男性医師の赴任が決定。９月２日から勤務予定（山形新聞）  ８月１９日　東北地区支部消防救助技術指導会の「引揚救助」で３位に入った酒田地区広域行政組合消防署の隊員が同組合消防署西分署で訓練を公開（山形新聞）  ８月２０日　酒田市松山地域の皇大神社で、伝統の松山能が奉納（山形新聞）  ８月２０日　酒田観光物産協会支部主催「城下町歩き『ぷらり古地図探訪』」（荘内日報）  ８月２１日　山形交響楽団の「みなとまちコンサート」がホテルリッチ&ガーデン酒田で開催（山形新聞）  ８月２２日　広島市で開催された全国消防救助技術大会に酒田地区広域行政組合消防署の引揚救助チームが出場し、見事入賞（酒田市広報）  ８月２２日　酒田市議会は臨時会を開き、新庁舎建設予算の増額を賛成多数で可決（毎日新聞）  ８月２３日　２０１３年度国民体育大会東北ブロック兼第４０回東北総合体育大会の体操競技・新体操が酒田市国体記念体育館で開催（荘内日報）  ８月２３日　私立田園調布学園中等部の２年生を招く農村体験事業「ヒラタファームステイ」〔～２６日〕の開校式〔平田農村環境改善センター〕（荘内日報）  ８月２４日　東日本大震災の風化防止などを目的にした中平田コミュニティ振興会主催の「サマーキャンドルナイト中平田」〔旧中平田小学校跡地〕（山形新聞）  ８月２５日　「はあとほっとコンサート」公益ホールで開催（山形新聞）  ８月２６日・２７日　日本海に浮かぶ新潟県の粟島と佐渡島、山形県の飛島の三島交流会が飛島で開催（朝日新聞）  　８月２７日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業希望ホール自主事業共催事業  　　　　　　　藤原道山×SINSKE「風神雷神」－尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ（酒田市広報）  　８月２７日　飛島診療所の常任医師が決まる。野口健一［内科医師］辞令交付。８月２９日着任（酒田市広報）  　８月２８日　昭和の漫画家作品展〔マリーン５清水屋〕（山形新聞）  　８月２９日　酒田市雇用創造協議会「新商品開発研究センター」開設（酒田市広報）  　８月２９日　酒田市の民間事業所で組織する酒田再生可能エネルギー発電所設立研究会は産業会館で講演会（山形新聞）  　８月３０日　「街歩き」をテーマに観光する情報を交換し合う、酒田市民による街づくり団体「湊町さかた探検隊」のメンバーによる「まちなか散策」が日吉町周辺で行われた（荘内日報）  　９月　１日　講演や体験を通し、酒田市に伝わる土人形「鵜渡河原人形」について理解を深める「鵜渡河原人形ＤＡＹ」開催〔浜田学区コミュニティ防災センター〕(荘内日報)  　９月　１日　２０１３年度少林寺拳法県大会〔国体記念体育館〕（荘内日報）  　９月　２日　飛島診療所が１年５カ月ぶりに新たな診療をスタート（山形新聞）  　９月　２日　インターネット交流サイト「フェイスブック」（ＦＢ）をビジネスツールの一つとして活用するための講座「フェイスブック商売店用術」が産業会館で開催（荘内日報）  　９月　３日　日本古来の「伝統木構造住宅」の良さを健康・循環・庄内の視点から再確認しようという座談会〔山王くらぶ〕（荘内日報）  　９月　４日　東北公益文科大と酒田市が連携する「市民大学講座」の開講式（山形新聞）  　９月　４日　酒田市草津の山間で、環境省猛禽類保護センター自然保護専門員が“幻のヘビ”と呼ばれる「シロマダラ」を発見（山形新聞）  　９月　５日　花王株式会社酒田工場〔大浜二丁目〕は紙おむつを製造する新工場を建設。翌年初めから生産を開始予定。記念して同社より紙おむつと誕生カードが継続的に寄付（酒田市広報）  　９月　６日　飛鳥中学校２年生と酒田ふれあい商工会がタイアップし、オリジナル商品の開発を行う「飛鳥ブランド」の試食会（読売新聞）  　９月　７日　平田地区の鳥海南麓山楯団地で育てられたソバの花見会と手打ちそば会食が同団地と悠々の杜温泉施設「アイアイひらた」で開催（山形新聞）  　９月７日・８日　酒田市楢橋地区に伝わる「楢橋神代神楽」が地区の鎮守・玉池神社で奉納上演（荘内日報）  　９月　８日　県民芸術祭と酒田市民芸術祭の開幕記念式典・公演〔希望ホール〕（荘内日報）  　９月　８日　第４０回「東北不惑ラグビーフットボール交流大会」が「べにばな国体」のラグビー会場にもなった光ケ丘球技場で開催（荘内日報）  　９月　８日　高品質で知られる庄内豚を使った親子料理教室〔酒田市ひらたタウンセンター〕（荘内日報）  　９月　９日　日本有数の客船「飛鳥Ⅱ」の出港に伴い酒田港古港埠頭で式典。乗客約３８０人を乗せた飛鳥Ⅱはウラジオストクへのクルーズに出港。航海中（９～１２日）本県で撮影された映画「おしん」が特別公開（酒田市広報）  　９月　９日　酒田市のＮＰＯ法人「酒田ロケーションボックス」で事務局長を務める市村浩一酒田市議が法人の運営資金を一時流用が発覚（河北新報）  　９月１０日　資材費高騰などで入札不調が続いていた酒田市新庁舎建設計画で、３度目となる建築工事の入札が市役所であり、大成建設と地元業者２社の共同体〔ＪＶ〕　が落札（河北新報）  　９月１０日　ＪＲ羽越本線の導入される新型「いなほ」〔Ｅ６５３系〕の試乗会が新潟駅―鶴岡駅間と酒田駅―村上駅間で行われた（荘内日報）  　９月１０日　全国ブロック選抜Ｕ―１２体操競技選手権大会に出場する新関彩乃〔１１〕が市役所を訪れた（山形新聞）  　９月１１日　酒田市農業委員会は市長に「建議書」を提出（河北新報）  　９月１２日　国内最大級の豪華客船「飛鳥Ⅱ」の一行がロシアのウラジオストクから酒田北港に帰国（山形新聞）  　９月１３日　客船「にっぽん丸」酒田港に寄港・式典（酒田市広報）  　９月１３日　酒田市土地開発公社の理事協議会が同市役所で開かれ、本年度内に公社を解散することを確認（山形新聞）  　９月１３日　県は齋藤茂吉文化賞に公益財団法人「本間美術館」が受賞（荘内日報）  　９月１４日　秋田県能代市で開催される「おなごりフェスティバル」に「酒田まつり」が登場（山形新聞）  　９月１４日　県水難救済会が主催した県合同海難救助訓練が酒田港水産第二岸壁で行われ、庄内沿岸の１１救難所に所属する救助員達が有事に備えて各訓練を展開（荘内日報）  　９月１５日　伝統芸能などを通じて庄内の魅力を再発見し発信する「出羽庄内の文化・文化財フォーラム～想像する伝統芸能」開催〔公益ホール〕（山形新聞）  　９月１６日　県太鼓フェスティバル開催〔総合文化センター〕（荘内日報）  　９月１９日　東京都が会場の第６８回国民体育大会に出場する酒田市選手団が市武道館で壮行式（山形新聞）  　９月２０日　市は功労表彰と市民表彰、農業賞、新田産業奨励賞、庄内文化賞、阿部次郎文化賞の計６表彰制度の２０１３年度受賞者を発表。１４個人１団体（山形新聞）  　９月２０日　酒田警察署と酒田地区安全運転管理者協議会は「ヘッドライト早め点灯モデル事業所」制度をスタート（荘内日報）  　９月２１日　２０１３年産県産新米の出荷式〔山居倉庫〕（山形新聞）  　９月２１日　市と友好交流都市の盟約を結んでいる東京都北区の桐ヶ岡小学校の５年生１８人が訪問、広野地区の小学生と稲刈り作業などを楽しむ（荘内日報）  　９月２１日　バイオリンの滝千春とピアニストの金子三勇士を招いた「花王ファミリーコンサートin酒田」希望ホール公演（荘内日報）  　９月２２日　コンテナクレーンが酒田港に入港、高砂地区の岸壁に据え付け作業。クレーンが２基態勢に（山形新聞）  　９月２２日　国際交流まつりin中町２０１３〔市交流ひろば〕（酒田市広報）  　９月２２日　東北日本ハムとＪＡ庄内みどりの米粉用米合同稲刈り式〔酒田市広野の「みんなの田んぼ」〕（山形新聞）  　９月２３日　荘内南洲会の「西郷南洲翁の大徳を偲ぶ会」〔南洲神社〕（荘内日報）  　９月２３日　全国各地の歌の愛好者が集う『日本大衆音楽祭』〔日本青年会館〕で初出場した県大衆音楽協会所属の志田節子〔酒田市亀ケ崎〕がシニア部門の最高賞となる厚生労働大臣賞を獲得（山形新聞）  　９月２４日　県は「やまがた公益大賞」の受賞団体を発表。グランプリは荒廃竹林の整備に取り組み、除間伐したモウソウダケをカキの養殖棚用資材として加工し被災地に提供している酒田市のＮＰＯ法人「ひらた里山の会」（山形新聞）  　９月２５日　酒田市交通安全高齢者等市民大会〔総合文化センター〕（山形新聞）  　９月２６日　酒田港リサイクル産業センターが酒田市宮海に整備を進めていた庄内地域初の大規模太陽光線発電所「酒田港メガソーラー発電所」が完成、竣工式〔１９日から稼働〕（山形新聞）  　９月２６日　酒田警察署協議会〔酒田警察署〕（山形新聞）  　９月２７日　庄内地域の１０社、１１工場で組織する庄内生コンクリート協同組合はガーデンパレスみずほで地域活性化フォーラム「社会資本整備と生コン産業の役割」を開催（山形新聞）  　９月２８日　土門拳記念館開館３０周年記念。浜美枝講演会〔公益ホール〕（酒田市広報）  　９月２８日　特急いなほ号が新たな車両Ｅ６５３系で運行（酒田市広報）  　９月２８日　時計・宝石・メガネの専門店ヴェルレーヌ・イトウの「宝飾フェア―inＳＡＫＡＴＡ」酒田で初の宝飾展〔産業会館〕（荘内日報）  　９月２９日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業　平成２５年度公共ホール現代ダンス活性化事業コンテンポラリダンス（酒田市広報）  　９月２９日　酒田市のＮＰＯ法人「庄内海岸のクロマツ林をたたえる会」は、「海岸林見学学習会〔砂草地編〕」を開催（毎日新聞）  　９月２９日　酒田京田西工業団地に大規模コールセンター「山形ＢＰＯガーデン」を建設中のプレステージ・インターナショナルは行政関係者と採用内定者らを招いて建設現場見学会（山形新聞）  　９月２９日　国内最大級の豪華客船「飛鳥Ⅱ」が日本一周クルーズの途中で酒田港に寄港  　　　　　　　（山形新聞）  　９月２９日　酒田市教育委員会と酒田発明協会で構成する酒田創意工夫展実行委員会の表彰式〔酒田勤労者福祉センター〕（山形新聞）  　９月３０日　トライアスロン世界選手権に出場する酒田市浜中在住の小林恵が市役所を表敬訪問（荘内日報）  １０月　１日　市は市立保育園でクラス担任を務める正職員を確保するため、２０１４年度の新規格保育士を採用（山形新聞）  １０月　１日　新庁舎建設工事始まる。平成２９年７月の完成に向けて工事開始。１期分の開庁は平成２７年８月、２期分の開庁は平成２９年４月の予定（酒田市広報）  １０月　１日　２０１３年度新田産業奨励賞表彰〔公益ホール〕（山形新聞）  １０月　２日　酒田市顕彰式がベルナール酒田で行われ、功労表彰、市民表彰、農業賞に輝いた１１人の功績をたたえた（山形新聞）  １０月　３日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業「BS日本の歌」（酒田市広報）  １０月　４日　「飛島育ち」でデビューした天音里望（あまねさとね）記念リサイタルが響ホールで（荘内日報）  １０月　４日　酒田・鶴岡の両商工会議所と秋田県にかほ市商工会の各工業会がベルナール酒田で初の「日本海沿岸工業部会交流会」を開催（山形新聞）  １０月　４日　酒田商工会議所は２０１３年度優良商工従業員の表彰式を行い、長年勤続の９１人を顕彰〔ガーデンパレスみずほ〕（山形新聞）  １０月　４日　酒田市老人クラブ連合会酒田支部主催の老人福祉大会が開かれ、結婚５０周年の夫婦を祝う「おしどり金婚さん」顕彰〔総合文化センター〕（山形新聞）  １０月　４日　酒田市出身の編集者齋藤真爾〔東京都江戸川区〕が主催する出版社・深夜叢書社の創立５０周年を祝う会〔如水会館〕（山形新聞）  １０月　５日　酒田市内の３小学校が統合して誕生した平田小で初めて地元住民による「よみきかせ会」が開かれた（山形新聞）  １０月　５日　酒田市の天真学園高の創立９０周年記念式典（山形新聞）  １０月５日・６日　先端技術や職人技が集合「さかた産業フェア２０１３」開催〔酒田市体育館〕（酒田市広報）  １０月　６日　庄内空港「空の日」フェスタが開かれた（荘内日報）  １０月　７日　県は２０１３年県商工観光功労者表彰の受賞者を発表。庄内からは鳥海山大物忌神社前宮司の伊藤眞垣が観光振興功労者に選ばれた（荘内日報）  １０月　８日　東京国体でボクシング成年ミドル級の高橋諒〔拓大・旧酒田工出〕が初優勝。同競技で県勢の優勝は１９９３年大会以来、２０年ぶり（山形新聞）  １０月　８日　姉妹都市でロシア・イルクーツク州のジェレズノゴルスク・イリムスキー市を訪問した使節団の報告会〔ル・ポットフ―〕（山形新聞）  １０月　９日　子供たちの敏感な味覚を育てようと、味覚教室が酒田市港南学区コミュニティ防災センターで開催（山形新聞）  １０月　９日　女優・波乃久里子トークショー〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（荘内日報）  １０月９日・１０日　県内の定時制・通信制高校に通う生徒による生活体験発表会・生徒の集い・作品展〔酒田市総合文化センター主会場〕（荘内日報）  １０月１０日　港湾管理者や港湾振興会など関係団体で構成する日本港湾振興団体連合会総会〔ホテルリッチ&ガーデン酒田〕（山形新聞）  １０月１１日　庄内みどり農業協同組合、酒田市袖浦農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会からカーブミラー１４基が寄贈（酒田市広報）  １０月１２日・１３日　市内の華道７流派で組織する市華道会による「各流合同いけばな展」〔出羽遊心館〕（荘内日報）  １０月１３日　第１０回日本海旗争奪高校剣道大会が酒田市国体記念体育館で開かれ、男子は酒田光陵が初優勝した（山形新聞）  １０月１３日　プロ野球のパ・リーグのレギュラーシーズンの全日程が終了。ソフトバンクホークスの長谷川勇也選手（酒田南高出）はプロ７年目で初の首位打者、最多安打の２冠に輝いた（荘内日報）  １０月１３日　酒田市相生町の法華宗・妙法寺は、４年後に迎える開創５５０年の記念事業の一環として境内の建立する永代供養墓「寂光廟」の地鎮式（荘内日報）  １０月１４日　鳥海山〔２２３６ｍ〕初冠雪。昨年より１日遅い（読売新聞）  １０月１４日　日本海沿岸東北自動車道〔酒田みなと～遊佐区間１２㎞〕起工式（酒田市広報）  １０月１４日　平田地域のアイアイ平田周辺でひらたジョギング・ウォーク＆一輪車フェスタが開催（酒田市広報）  １０月１４日　「２０１３ツールドＳＡＫATA－チャリでＧＯ酒田再発見Ⅳ」開催。１４７人が参加、飯森山地区や市街地内６か所の通過ポイントでは趣向を凝らしたおもてなし（酒田市広報）  １０月１６日　国内最大級の営業写真コンテスト「富士フィルム営業写真コンテスト」で、写真家斉藤綾子「綾こ写真館」〔酒田市若浜町〕が銅賞を受賞（山形新聞）  １０月１７日　県国際交流協会主催の外国人を対象とした「ふれあい日本のマナー講座」が酒田市交流ひろばで開催（山形新聞）  １０月１７日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業希望ホール自主事業共済事業  　　　　　　　森麻季＆林美智子デュオ・コンサート―華麗なる二人の歌姫―（酒田市広報）  １０月１８日　県立酒田光陵高校創立１周年に「ＣＭソングの女王」と称される歌手・ミネハハコンサート（荘内日報）  １０月１８日～２０日　酒田市生涯学習まつり２０１３が総合文化センターで開催（酒田市広報）  １０月１９日　老朽化に伴い、改築事業が進められていた松原小学校の竣工式が同校体育館で開催（山形新聞）  １０月１９日　西荒瀬村藤塚生まれの思想家大川周明をしのぶ碑前祭が同市日吉町神社境内に立つ顕彰碑前で行われた（荘内日報）  １０月１９日　酒田光陵高校国際経営科の生徒が酒田市内の３障害者福祉施設と連携し、障がい者が手掛ける商品の改善を提案、学校祭で限定販売（山形新聞）  １０月１９日・２０日　３０回目を迎える酒田市の秋まつり「酒田どんしゃんまつり」が同市中心商店街で開催（荘内日報）  １０月１９日～２８日　酒田市生石の真言宗「延命寺」に約１００年前から伝わるとされる秘仏「聖観世音菩薩」が６０年ぶりに開帳（荘内日報）  １０月２０日　日程、コースが変更されて開催された第２回酒田シティハーフマラソン大会。全国各地から参加した約１５００人のランナーが酒田の街を駆け抜けた。ゲストランナーは２００３年世界陸上女子マラソン銅メダリスト千葉眞子（酒田市広報）  １０月２２日　松山中学校で閉校記念コンサートを開催（荘内日報）  １０月２３日　日本南極地域観測隊に参加した首都大学東京大学院システムデザイン研究科２年三浦夏美〔酒田東高出〕が母校で「南極大陸から見た夢」と題して講演し、南極での生活や調査内容について紹介（山形新聞）  １０月２５日　土門拳記念館でミュージアムコンサート開催（荘内日報）  １０月２６日・２７日　東北公益文科大の学生と教員有志は、庄内傘福研究会との協働で同大本部棟１階「地域共創センター」前を会場にワークショップ「傘福みんなに伝え隊」を開催（荘内日報）  １０月２７日　ランとバイクの合計タイムで優勝を競う「第２０回庄内テュアスロンin酒田大会」が酒田北港多目的グランド周辺で開催（荘内日報）  １０月２７日　離島・飛島を代表する魚「トビウオ」の一夜干しを使って創作料理の試食会〔市交流ひろば〕（荘内日報）  １０月２７日　県内の女子サッカーチームが競い合う「ＪＡＦレディース&ガールズサッカーフェステイバル２０１３山形inさかた」が飯森山公園多目的グランドで開催（山形新聞）  １０月２７日　地元住民が下校中の児童を見守る「みやのうらっ子見守り隊」が２０１３年度全国防犯協会長表彰を受け、祝賀会〔宮野浦学区コミュニティ防災センター〕（山形新聞）  １０月２８日　市役所の新市庁舎改築工事に伴い、正面駐車場の利用制限がスタート。２０１７年７月頃まで約４年間にわたって続く（山形新聞）  １０月２８日　公益のまちづくり賞の受賞者が決まり贈呈式。池田正直［こあら二丁目］、佐藤良子〔富士見町一丁目〕、松村正裕〔亀ケ崎三丁目〕、一條地区女性の会〔八幡地域〕、郡鏡先人わら工房〔平田地域〕（酒田市広報）  １０月２９日　山形県農業委員大会〔希望ホール〕開催（荘内日報）  １０月３０日　一條コミュニティ振興会の「ハロウィンパーティ」が開かれた（山形新聞）  １０月３１日　飛島地区で県警察本部、陸上自衛隊、海上保安庁による津波災害対処訓練が実施。合同訓練では避難所設営、ヘリコプターによる収容・搬送・水難救助訓練などが行われ、要救助者搬送訓練には女性消防団も参加し対処法を習得（酒田市広報）  １０月３１日　「酒田商業高校跡地の利活用を考える」をテーマにした酒田青年会議所の「まちづくり未来創造シンポジウム」〔希望ホール〕（荘内日報）  １０月３１日　酒田市の中学生海外派遣事業「はばたき」の出発式〔庄内空港〕（山形新聞）  １１月　１日　市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業希望ホール事業「岡田修＆白崎映美withとうほぐまづりオールスターズライブ＆トーク」（酒田市広報）  １１月　１日　「高山樗牛賞」に小説などの創作活動を続けている小笠原敏夫〔酒田市亀ケ崎〕が受賞（荘内日報）  １１月　２日　灯台記念日〔１１月１日〕に合わせ、酒田海上保安部は酒田市高砂の酒田灯台を一般公開（読売新聞）  １１月　３日　鳥海山麓の秋の味覚を味わう「玉簾の滝きのこまつり」が升田の産直ららら駐車場で開催（山形新聞）  １１月　３日　やわた文化祭やまゆり芸術祭が八幡タウンセンターで開催（酒田市広報）  １１月　３日　恒例のひらた文化祭・産業まつりがひらたタウンセンターなどで開催（酒田市広報）  １１月　６日　今年で最後になる酒田市中学生合唱祭が希望ホールで開催。飛島を除く市内８校が参加、美しいハーモニーを会場いっぱいに響かせた（荘内日報）  １１月　６日　酒田市前田福祉賞の表彰式〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  １１月　９日　鳥海やわた観光が運営する酒田市麓の温泉施設「八森温泉ゆりんこ」が入浴客を対象に募集した初の「川柳コンテスト」（荘内日報）  １１月１０日　市議会選挙〔定数２８〕投票日。任期は１１月１３日から平成２９年１１月１２日まで（酒田市広報）  １１月１０日　吉続舞踊学園の創部８５年記念現代舞踊公演〔希望ホール〕（荘内日報）  １１月１３日　県情報産業協会人材育成・交流委員会主催のイブニングサロン〔酒田市山新放送庄内会館〕（山形新聞）  １１月１３日　酒田港の利用促進を図る「酒田港ポートセミナー」山形市のパレスグランデールで開催（荘内日報）  １１月１３日　酒田税務署の本年度納税表彰式〔ホテルリッチ＆ガーデン〕（荘内日報）  １１月１４日　入院・治療していた本間正巳市長が職務復帰（読売新聞）  １１月１４日　昔の飛島の暮らしを紹介する資料館「島のミューゼアム澗〔にま〕」が飛島にオープン（酒田市広報）  １１月１４日～１７日　アマチュアボクシングの全日本選手権が長崎県雲仙市吾妻体育館で行われ、ミドル級の高橋諒〔拓大・旧酒田工高出〕が準優勝（山形新聞）  １１月１５日　県詩人会員の相蘇清太郎＝酒田市吉田＝が自身初めての詩集「ルネサンスに至る神々」を刊行（山形新聞）  １１月１５日　東北公益文科大大学院講演会〔客員教授：佐々木毅東京大教授「政治と公益―選挙制度から」〕〔同大酒田キャンパス〕（山形新聞）  １１月１６日　ソプラノの備前加奈が希望ホールで「母のぬくもりコンサート」を開催。優しく透き通った歌声で詰めかけた親子連れらを魅了（荘内日報）  １１月１６日　発達支援講演会〔酒田市民健康センター〕（山形新聞）  １１月１７日　資生堂執行役員で美容統括部長を務める関根近子〔酒田市出身〕の講演会「輝いて生きるプラス思考の育て方」〔響ホール〕（山形新聞）  １１月１７日　まつやま産業フェスタが松山農村環境改善センターで開催。餅つき大会、働く車・乗車体験、ゲーム、新商品発表会など（酒田市広報）  １１月１７日　ビオラ奏者として世界的に活躍している今井信子を迎える酒田フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会〔希望ホール〕（荘内日報）  １１月１７日　「人と人との絆物語」をテーマに松原学区社会福祉協議会が学区住民を対象に募集した作文コンクールの表彰式・発表会（荘内日報）  １１月１７日　庄内地域在住の外国出身者による日本語スピーチコンテスト〔酒田市公益ホール研修室〕（荘内日報）  １１月１７日　酒田光陵高校の統合前の旧４高校の東京同窓会合同の「同窓の集い」〔東京都新宿〕（荘内日報）  １１月１８日～２０日　山形・秋田中学校服装手芸作品競技会の作品展〔酒田市総合文化センター〕酒田市の天真学園高が主催し、従来から和裁、洋裁、手芸、玩具・工作の４部門に加え、同校創立９０周年を記念してデザインの部を新設（山形新聞）  １１月１８日　災害発生時の福祉避難所の設置に関して本市と社会福祉法人及び医療法人〔計１８施設〕との協定が締結（酒田市広報）  １１月１９日　市議会は臨時会を開き、議長に本多茂、副議長に堀孝治を選出（荘内日報）  １１月２０日　酒田市と酒田商工会議所が制定する「永年功労技能者」の表彰式〔産業会館〕（荘内日報）  １１月２１日　酒田共同火力発電は酒田市宮海の同社構内タンクから濃度９５％の硫酸約１５３０ℓが漏れ、約１．８キロの雨水排水溝を通って酒田北港内の日本海に流出したと発表〔漏えい確認は２０日正午前〕（山形新聞）  １１月２１日　市内の園児が集う「ちびっこしょうぼうまつり」開催〔酒田地区広域行政消防組合主催：市民会館〕（山形新聞）  １１月２１日　酒田市高校生ボランティアサークルかざみどりは、市社会福祉協議会にチャリティカフェの収益金を寄付（山形新聞）  １１月２１日　ロシアに今夏、短期留学した東北公益文科大の２，３年生８人による報告会〔同大キャンパス〕（山形新聞）  １１月２２日　「ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー２０１３」フォトコンテストで、酒田市安田のカメラマン冨樫淳の作品「私の父」が優秀作品（山形新聞）  １１月２２日　酒田市中町二丁目の中町モールでイルミネーションの点灯式が行われ、１万５千個の発光ダイオード〔ＬＥＤ〕を使った星空とクリスマスツリーをデザインした電飾が登場（山形新聞）  １１月２４日　第３０回山形県女子駅伝競走大会〔上山市～山形市の５区間２０．６㎞〕が開催。酒田飽海チームが１３年ぶり６度目の優勝（酒田市広報）  １１月２５日　酒田市集落営農組織ニューリーダー育成塾の入塾式〔産業会館〕（荘内日報）  １１月２５日　暴力団が縁起物やパーティ券を高額販売するなどの事案が増加する年末年始を前に、酒田警察署管内の防犯・暴力追放団体などは「暴力団排除宣言書」を同署に提出（山形新聞）  １１月２６日　酒田「小さな親切」の会は社会福祉法人・正覚会「北のかがやき」〔酒田市漆曽根〕と、デイサービスセンター「クローバー」〔酒田市山居町〕に車いすなどを贈った（荘内日報）  １１月２６日　京田西工業団地に建設していた〔株〕プレステージ・インターナショナルの山形ＢＰＯガーデンが完成、竣工式（酒田市広報）  １１月２７日　酒田地区ふれ愛募金会の第２０回贈呈式〔ばんけの会：酒田市、吹浦スポーツ民謡会：遊佐町〕〔市役所〕（荘内日報）  １１月２８日　新庁舎建設現場で本格的な着工に先立ち、市庁舎改善工事安全祈願祭（酒田市広報）  １１月２８日　酒田北港高砂埠頭において酒田港国際ターミナル第２号コンテナクレーン竣工式（酒田市広報）  １１月２８日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業　希望ホール共催事業  [ORANGE RANGE LIVE TOUR 013 ～spark~]（酒田市広報）  １１月２８日　２期８年間にわたり教育委員会教育長を務めた石川翼久が退任（酒田市広報）  １１月２９日　教育委員会教育長に村上幸太郎が選任〔任期は平成２５年１１月２９日から平成２９年１１月２８日まで〕（酒田市広報）  １１月２９日　酒田、三川、庄内、遊佐の１市３町による「庄内北部定住自立圏形成市長・町長会議」〔酒田市役所〕（荘内日報）  １１月２９日　酒田市中心部を流れる新井田川の環境美化活動に取り組んできた「心のふるさと新井田川の会」の設立１０周年記念シンポジウム〔勤労者福祉センター〕（山形新聞）  １１月３０日　県教育委員会と山形大学、東北公益文科大学が主催した県民シンポジウム「やまがたの人づくりと教育を考える」〔公益ホール〕（荘内日報）  １１月３０日　酒田市楢橋の雲龍寺の山門と山壁、参道が新しく造り直されて、同寺で落慶法要（荘内日報）  １１月３０日　国際ソロプチミスト酒田が主催した第３２回チャリティーディナーショー〔ガーデンパレスみずほ〕（荘内日報）  １２月　１日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業「市原多朗と第九をうたおう」合唱（酒田市広報）  １２月　１日　県協会長杯市町村対抗インディアカ大会〔市国体記念体育館〕（山形新聞）  １２月　２日　環境衛生功労者賞の決定。環境衛生功労者賞は、きれいなまちづくりのため、地区のごみの減量や資源化、環境美化活動など１０年以上にわたり自ら積極的に協力奉仕し、地域の模範となる人・団体に贈呈される。７個人と１団体（酒田市広報）  １２月　２日　市民団体や有識者らで構成する酒田市行財政集中改革プラン推進委員会は、酒田市役所で２０１３年度第２回会合を開催。財政効果２５億円増（山形新聞）  １２月　２日　酒田駅前と駅東を結ぶ地下道のアートギャラリー開設。酒田飽海地区の中学生と高校生が描いたもので地下道の安全と青少年の健全育成を目的に毎年展示（酒田市広報）  １２月　２日　市とエフエム放送株式会社との間で、災害時の放送要請に関する協定が締結（酒田市広報）  １２月　２日　「酒田みちみらい女性の会」は、酒田市内で建設が進む高速道路の工事現場を見学（荘内日報）  １２月　３日　市介護予防講演会が公益ホールで開催〔杉山孝博院長：「認知症を理解しよう」講演〕（山形新聞）  １２月３日～２３日　酒田飽海地区の高校の美術教師とそのＯＢ、ＯＧによる「飽海地区高校美術教師展２０１３」〔さかた街中キャンパス〕（山形新聞）  １２月　４日　東北公益文科大の学生が浜田小学校を訪れ、５年生の児童を相手に「公益を考える授業」（荘内日報）  １２月　４日　酒田地区歯科医師会の訪問歯科講演会が酒田市健康センターで開催（荘内日報）  １２月　６日　酒田市の花王酒田工場は中学校の楽器購入費に活用してもらおうと、市に寄付。酒田二中、飛鳥中、松山中の３中学校に贈られる（山形新聞）  １２月　７日　酒田市の中学生海外派遣事業「はばたき」の報告会〔市総合文化センター〕（荘内日報）  １２月　７日　「希望ステージ発表会２０１３」庄内地方のスクールバンドや太鼓クラブ交流〔希望ホール〕（荘内日報）  １２月　８日　酒田市民会館「希望ホール」開館１０年記念事業　希望ホール自主事業わんぱく寄席（酒田市広報）  １２月１０日　離島のある１３９市町村で構成する全国離島振興協議会は、離島振興法制定と同協議会設立の６０周年を記念して酒田地区広域行政組合消防団第５分団の飛島地区女性消防隊に同協議会長特別表彰伝達式（山形新聞）  １２月１０日　ＪＲ酒田駅前の旧ジャスコ跡地などの再開発を進めていた民間法人・酒田フロントスクエアが事業中止申請を酒田市に提出（毎日新聞）  １２月１２日　積乱雲内で突風が発生するメカニズムを解明するため、気象庁気象観測所は酒田市内で観測装置付きの気球を飛ばして上空の大気を調べる「構想ゾンデ観測」を行った〔酒田北港緑地多目的広場〕（山形新聞）  １２月１３日　第３０回「歳末助け合い酒田芸能大会」〔希望ホール〕（荘内日報）  １２月１４日　流通都市酒田の文化的景観講演会〔酒田勤労者福祉センター〕（山形新聞）  １２月１５日　阿部次郎生誕１３０年記念講演会。講師：山本陽史山形大学基盤教育院教授（酒田市広報）  １２月１５日　第１回八幡民俗芸能公演会―鳥海の里に息づく伝承の舞―〔八幡タウンセンター〕（酒田市広報）  １２月１７日　松原小学校の資源活用委員会は回収作業で進めてきたペットボトルキャップ約５万個を山形銀行に託した。開発途上国の子供たちへのポリオワクチンの費用として還元（荘内日報）  １２月１８日　酒田市社会福祉法人小鳩協会小鳩保育園に天皇陛下から金員が下賜（御下賜金）されることが決定（荘内日報）  １２月１９日　酒田市の離島・飛島に生えるキク科トウヒレン属の植物が飛島固有の新種と認定され、「トビシマトウヒレン」の名前がついた（荘内日報）  １２月２０日　酒田地区広域行政組合議会の臨時会。議長：堀豊明〔市平田総合支所〕（山形新聞）  １２月２１日　酒田市内の高校茶道会合同によるチャリティ茶会〔マリーン５清水屋〕（荘内日報）  １２月２１日　クロマツシンポジウム〔酒田勤労者福祉センター〕（山形新聞）  １２月２２日　ハタハタを中心とした海洋生物の保全活動に取り組んでいる酒田市のＮＰＯ法人・みなと研究会主催の「鱩鰰（はたはた）まつり」〔市地域福祉センター〕（荘内日報）  １２月２２日　法務省が主催する第６３回「社会を明るくする運動」作文コンテスト中学生の部で、酒田四中１年高橋希望の「優しい言葉で明るい社会を」が最優秀賞の法務大臣賞（山形新聞）  １２月２２日　酒田こども歌舞伎と酒田若獅子歌舞伎の発表会〔酒田市総合文化センター〕（山形新聞）  １２月２３日　酒田市八幡地域特産の飲むヨーグルト「鳥海高原ヨーグルト」を使った料理コンテスト。最優秀賞に遠田優子〔八幡タウンセンター〕（荘内日報）  １２月２４日　酒田市庄内バイオ研修センターが２００７年から育成してきたもち米の新品種「酒田糯（もち）１４号」のデビューが来秋に決定。市総合文化センターで試食会（山形新聞）  １２月２５日　大きな布に江戸時代の酒田の町並みなどを染め抜いた塞道の幕などを飾る「酒田のお正月展」〔国指定史跡・旧鐙屋〕（山形新聞）  １２月２６日　酒田ロータリークラブは児童発達支援センター酒田市はまなし学園に避難用具としてワイヤレスアンプと散歩用ワゴンを贈る（山形新聞）  １２月２６日　松山中学校の生徒会執行部は台風３０号で甚大な被害が出たフィリピンの早期復興を願い、義援金を酒田市に託した（荘内日報）  １２月２９日　墓碑や建築石材などの「エコー石材」はこのほど、お墓参りの大切さをテーマにした絵本３５冊を酒田市に寄贈（荘内日報） |